

第82回がん対策推進協議会	資料1
令和4年9月20日	

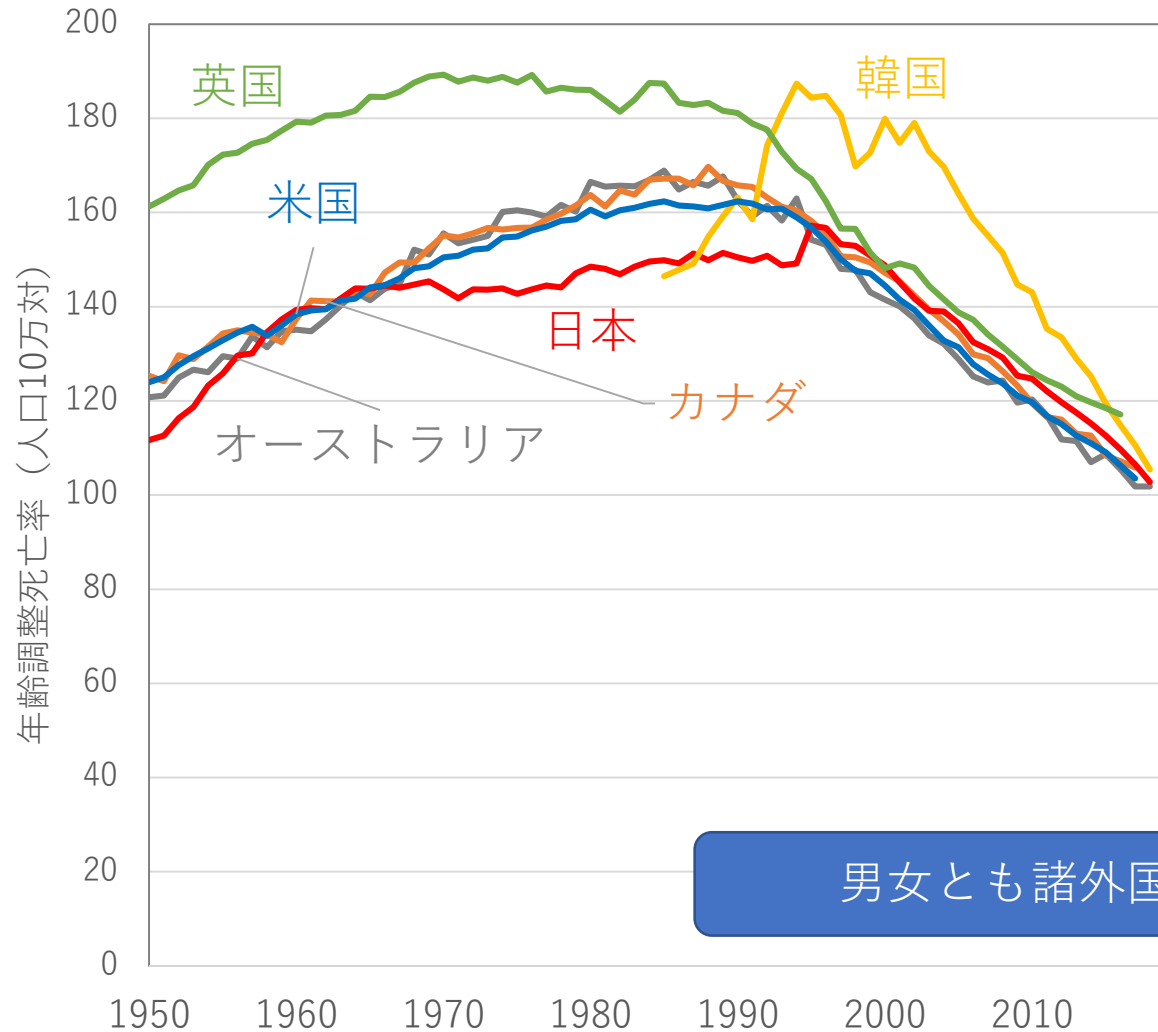
# がん年齢調整死亡率の国際比較

2022年度厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業  
「がん対策の年齢調整死亡率・罹患率に及ぼす影響に関する研究」  
(研究代表者 片野田 耕太)

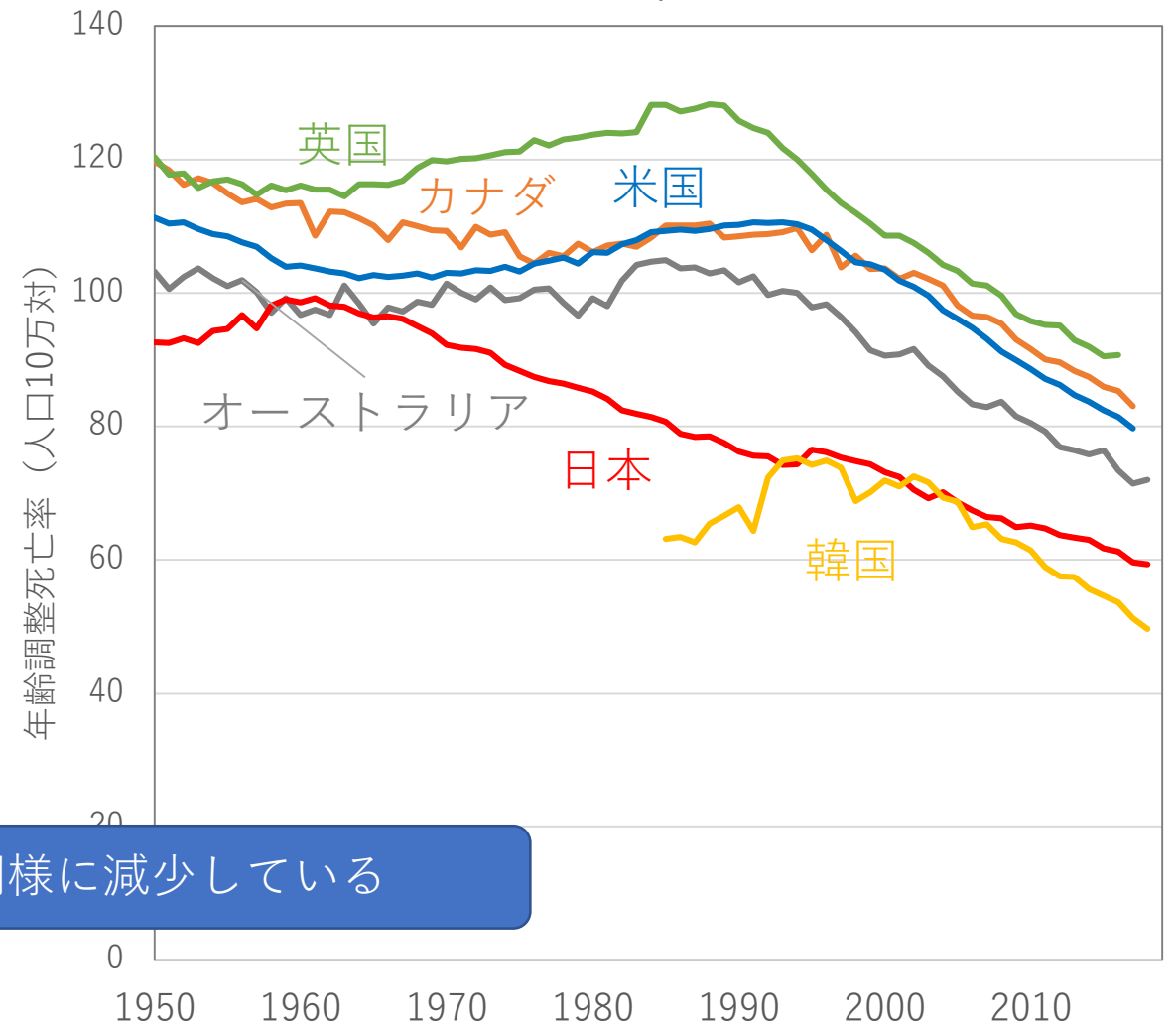
全年齡

# 全年齡 年齡調整死亡率 全がん

男性



女性



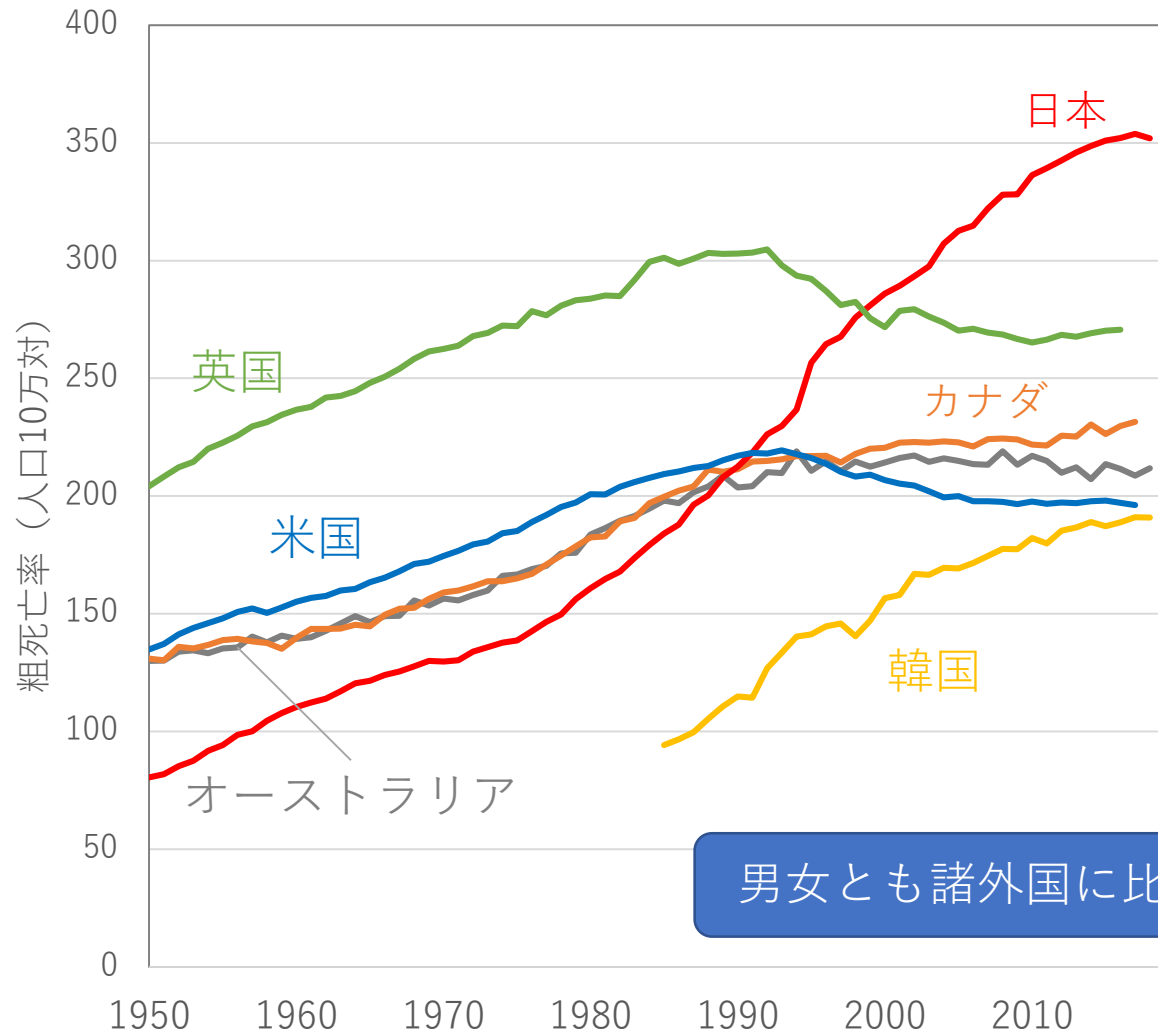
男女とも諸外国同様に減少している

年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。全がんは非悪性黒色腫皮膚がんを含まない。

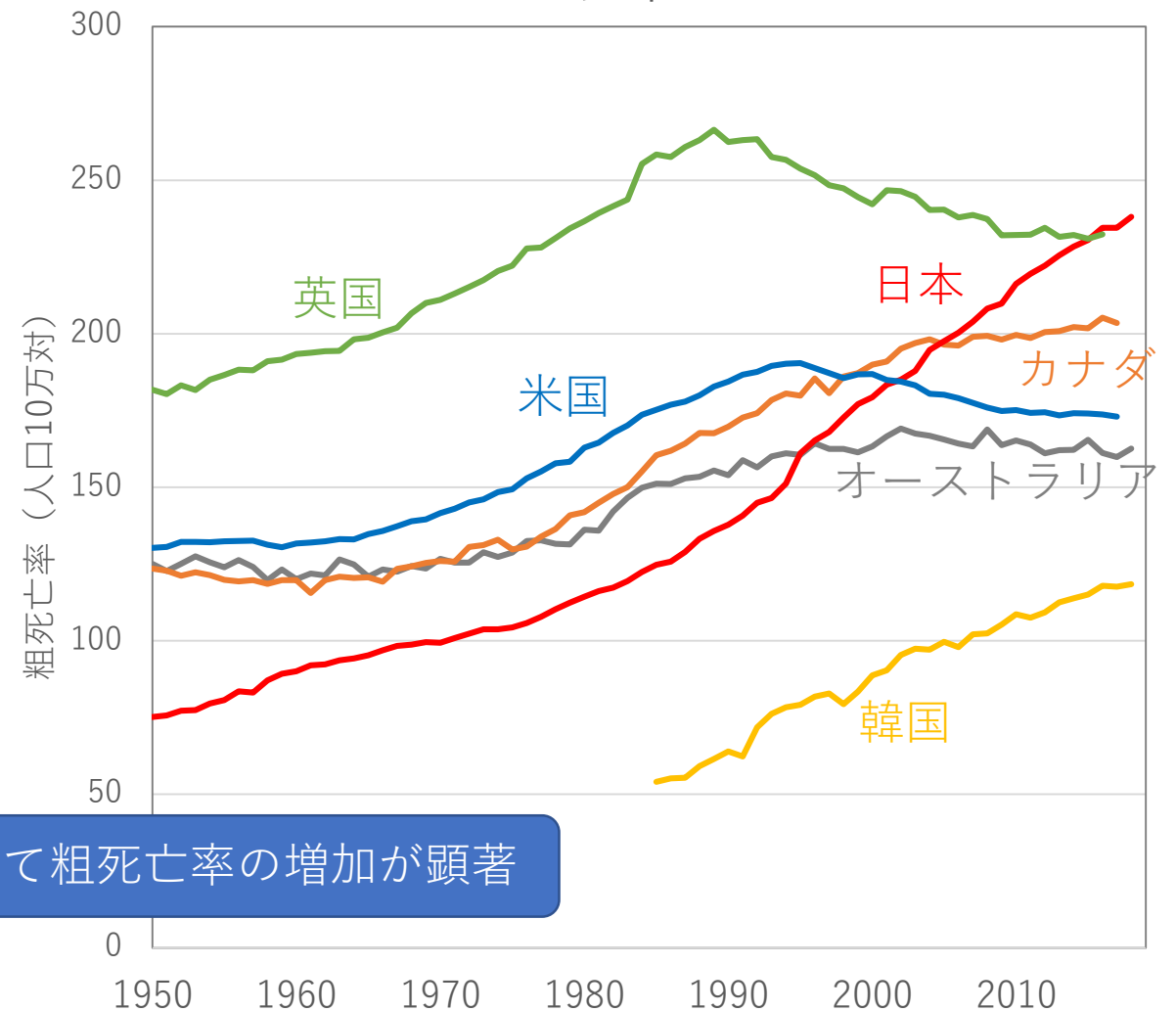
出典：Jpn J Clin Oncol. 2021;51:1680-1686、International Agency for Research on Cancer Global Cancer Observatory (<https://gco.iarc.fr/>)

(参考：全年齡 全がん 粗死亡率)

男性



女性



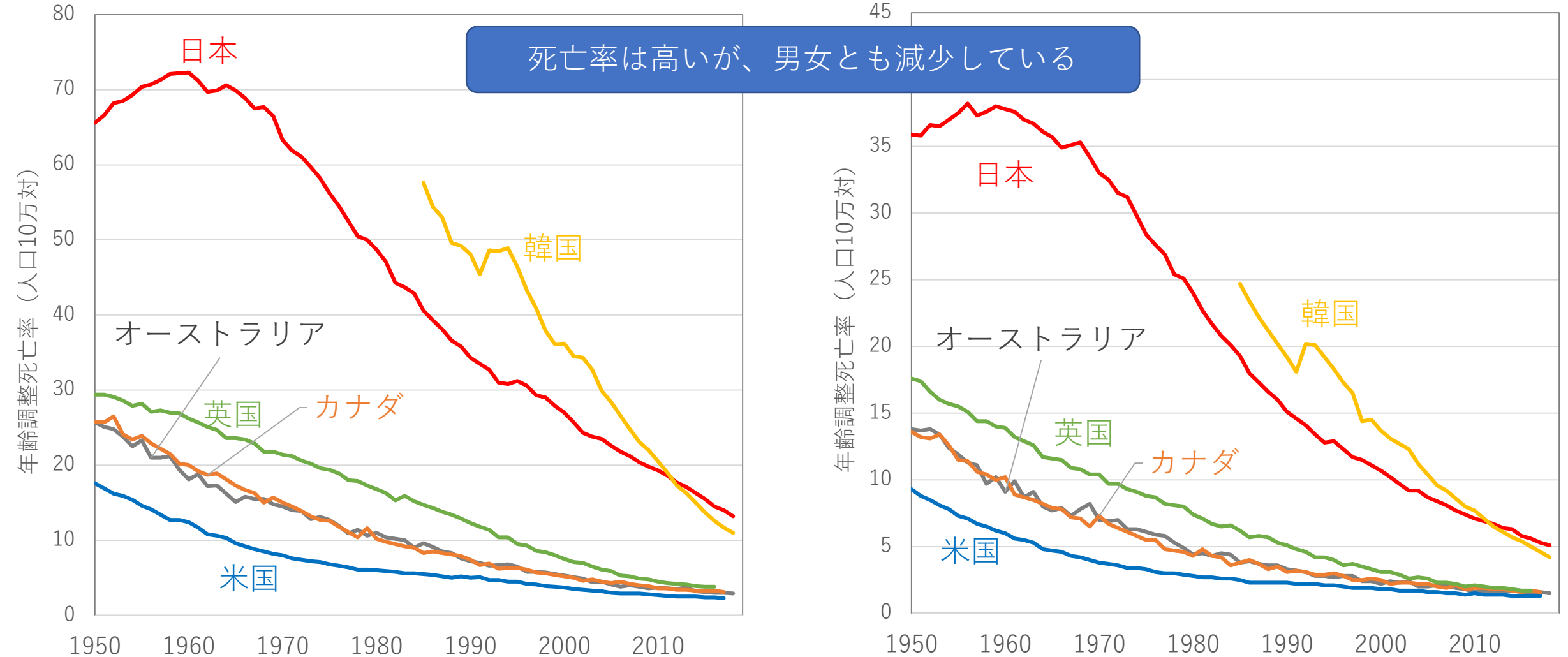
男女とも諸外国に比べて粗死亡率の増加が顕著

男女で縦軸のスケールが異なる。全がんは非悪性黒色腫皮膚がんを含まない。

# 全年齡 年齡調整死亡率 胃がん

男性

女性

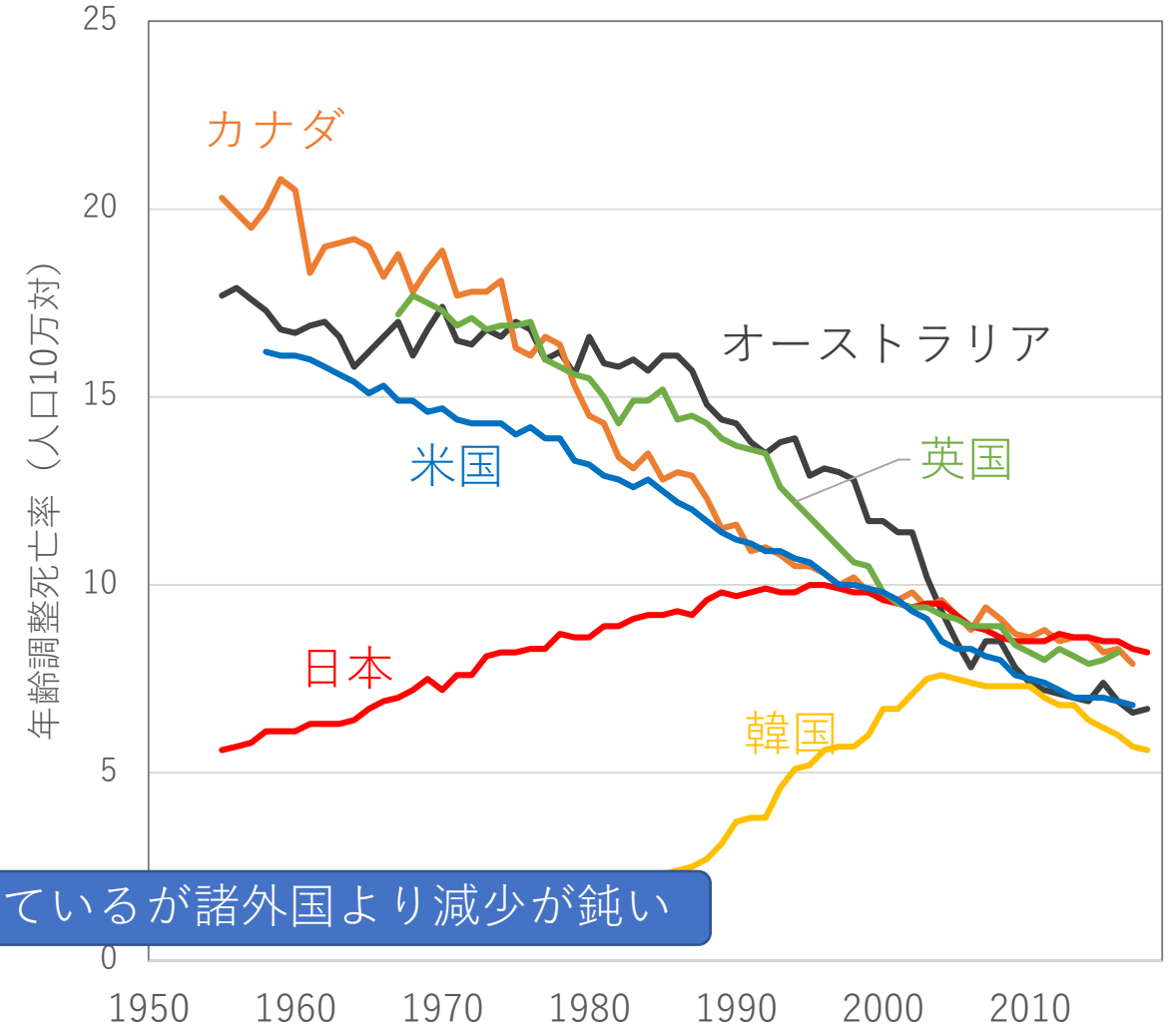
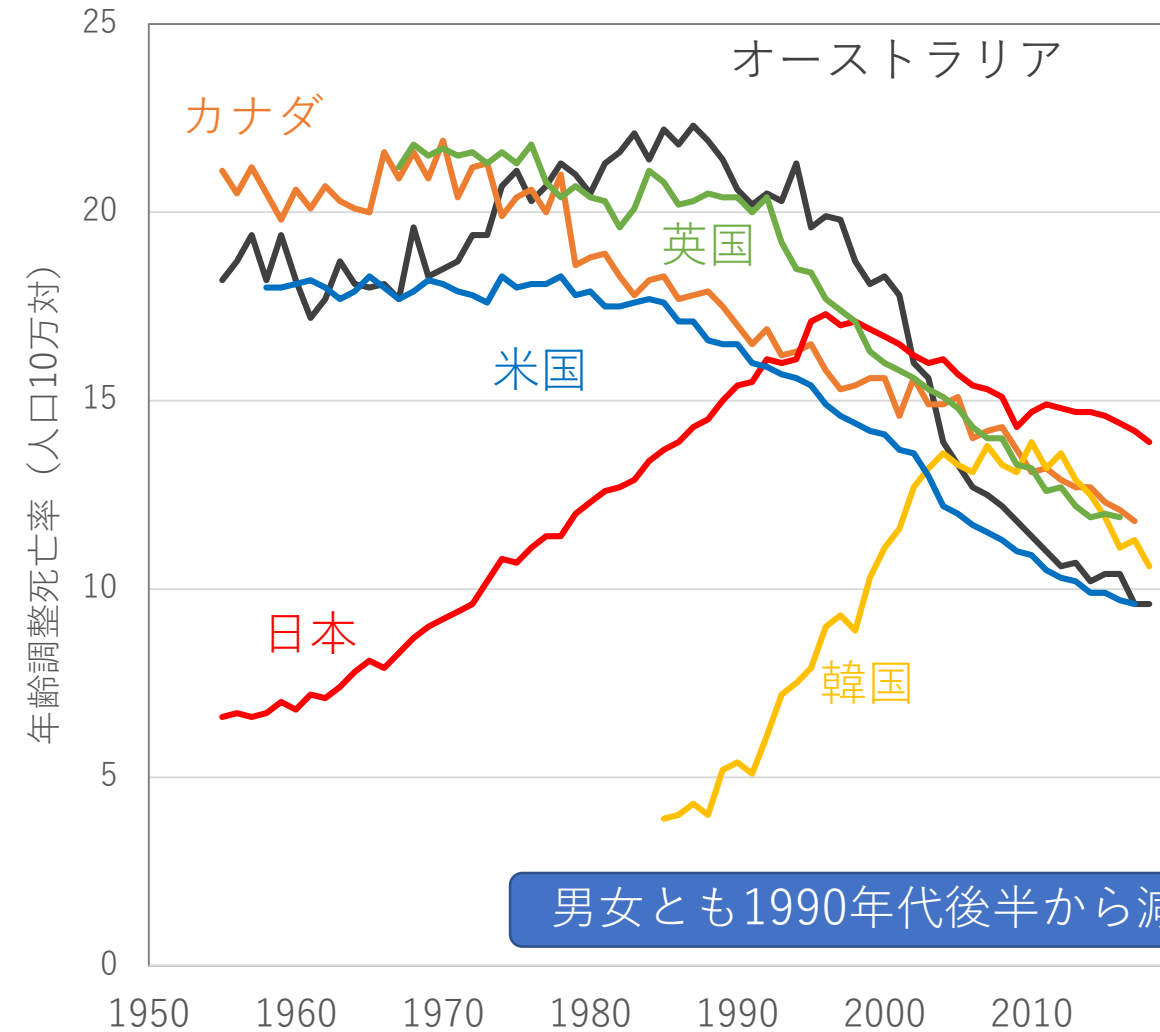


年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

# 全年齡 年齢調整死亡率 大腸がん

男性

女性



男女とも1990年代後半から減少しているが諸外国より減少が鈍い

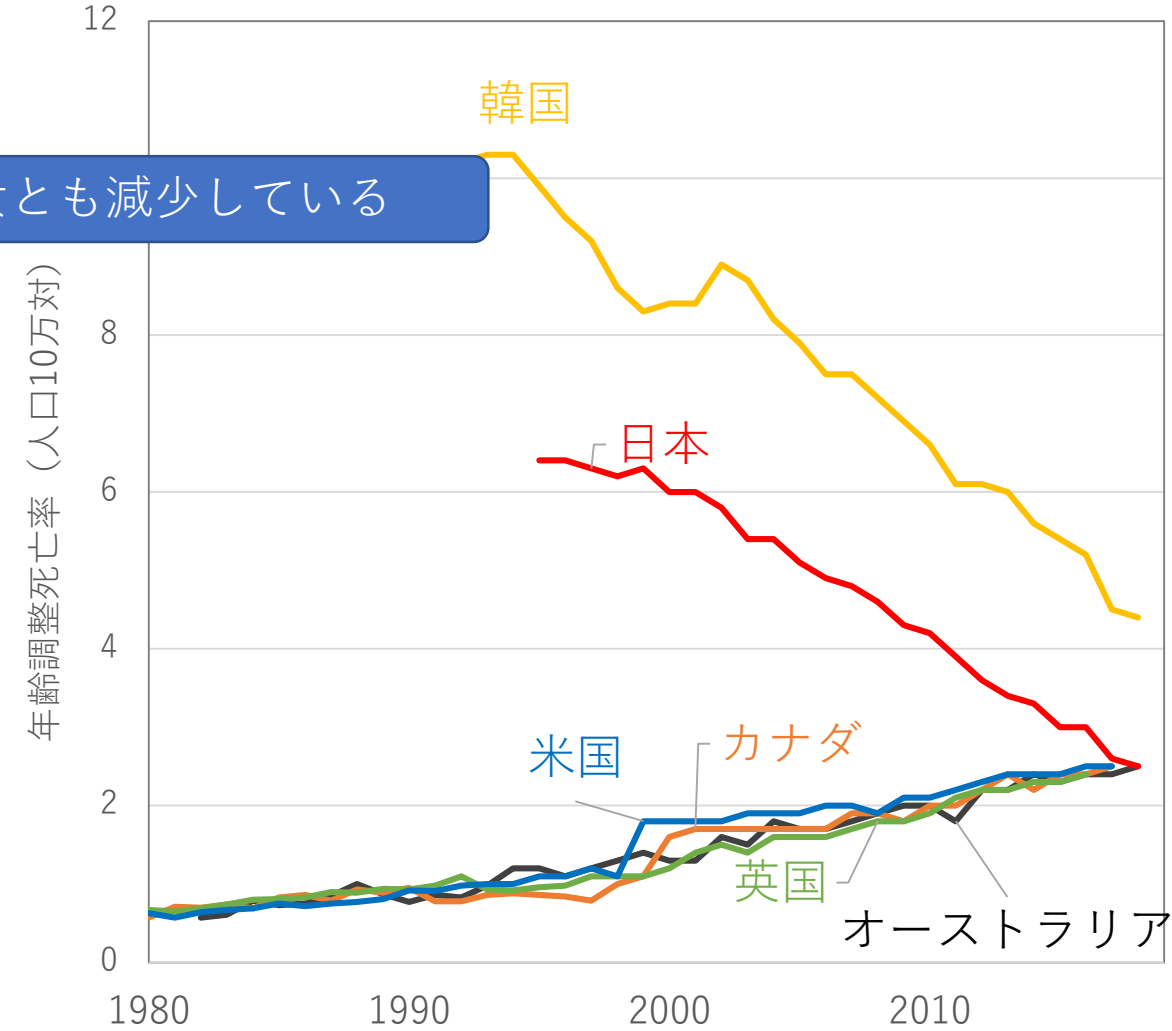
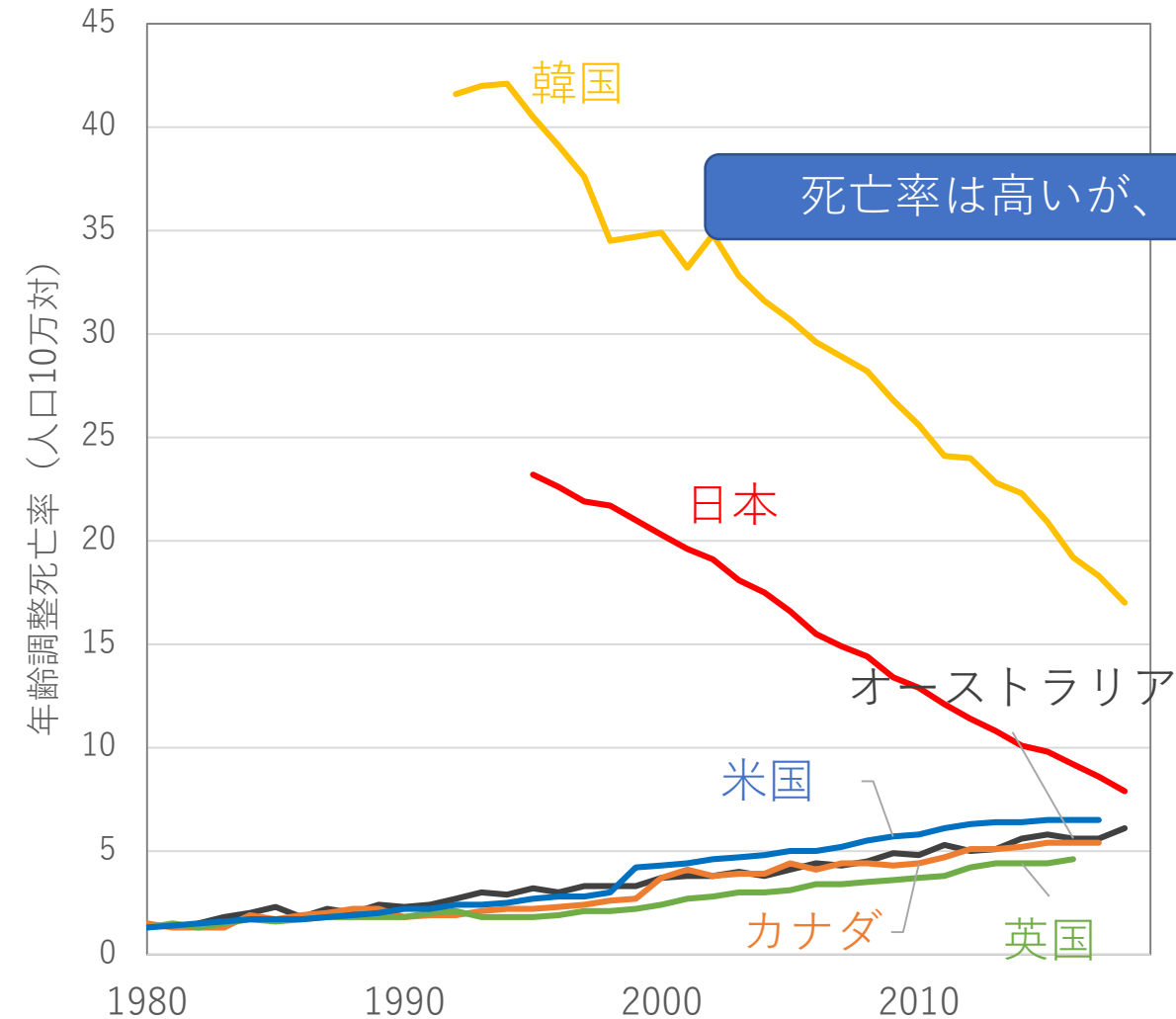
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

出典: Jpn J Clin Oncol. 2021;51:1680-1686、International Agency for Research on Cancer Global Cancer Observatory (<https://gco.iarc.fr/>)

# 全年齡 年齢調整死亡率 肝臓がん

男性

女性



死亡率は高いが、男女とも減少している

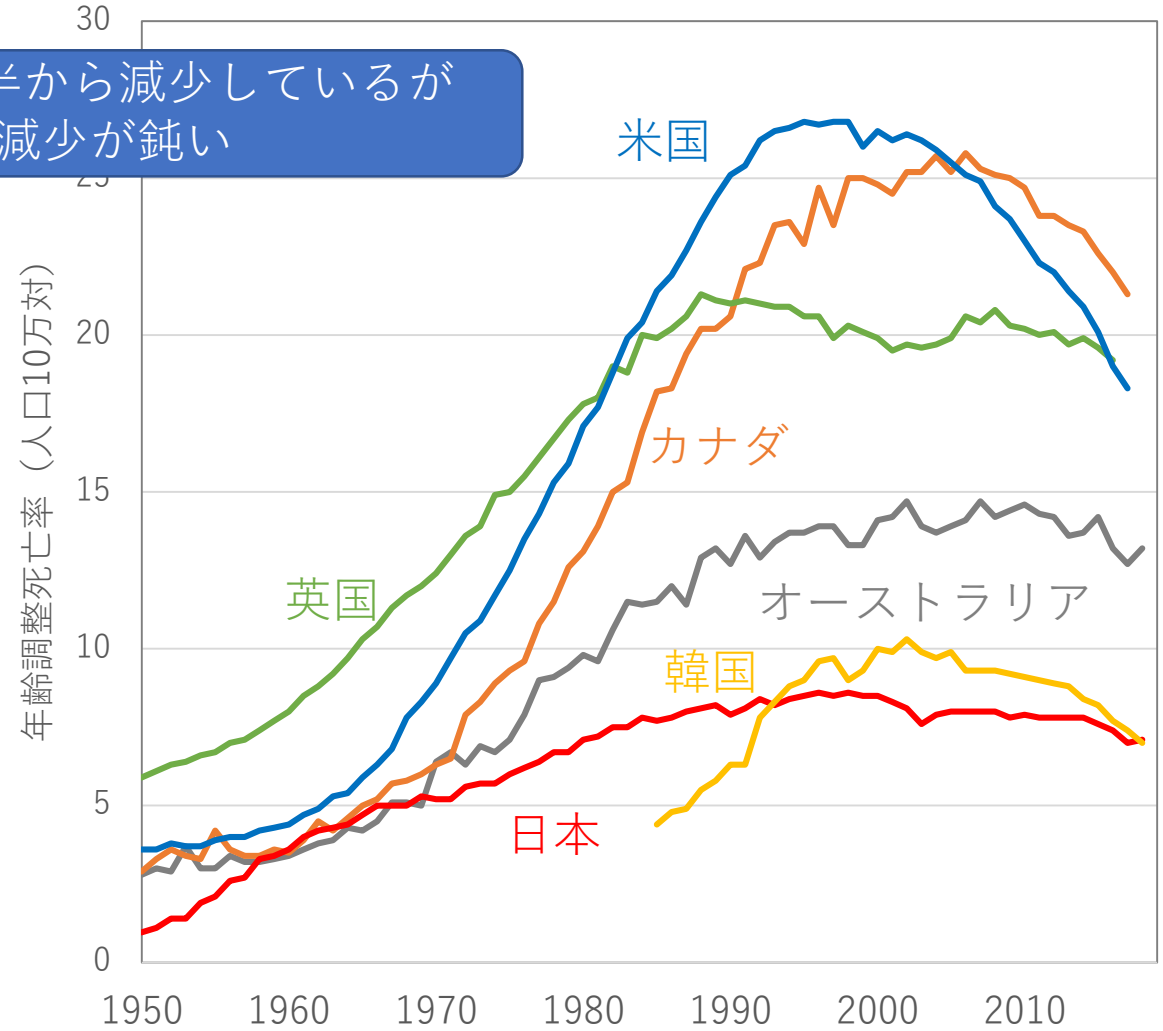
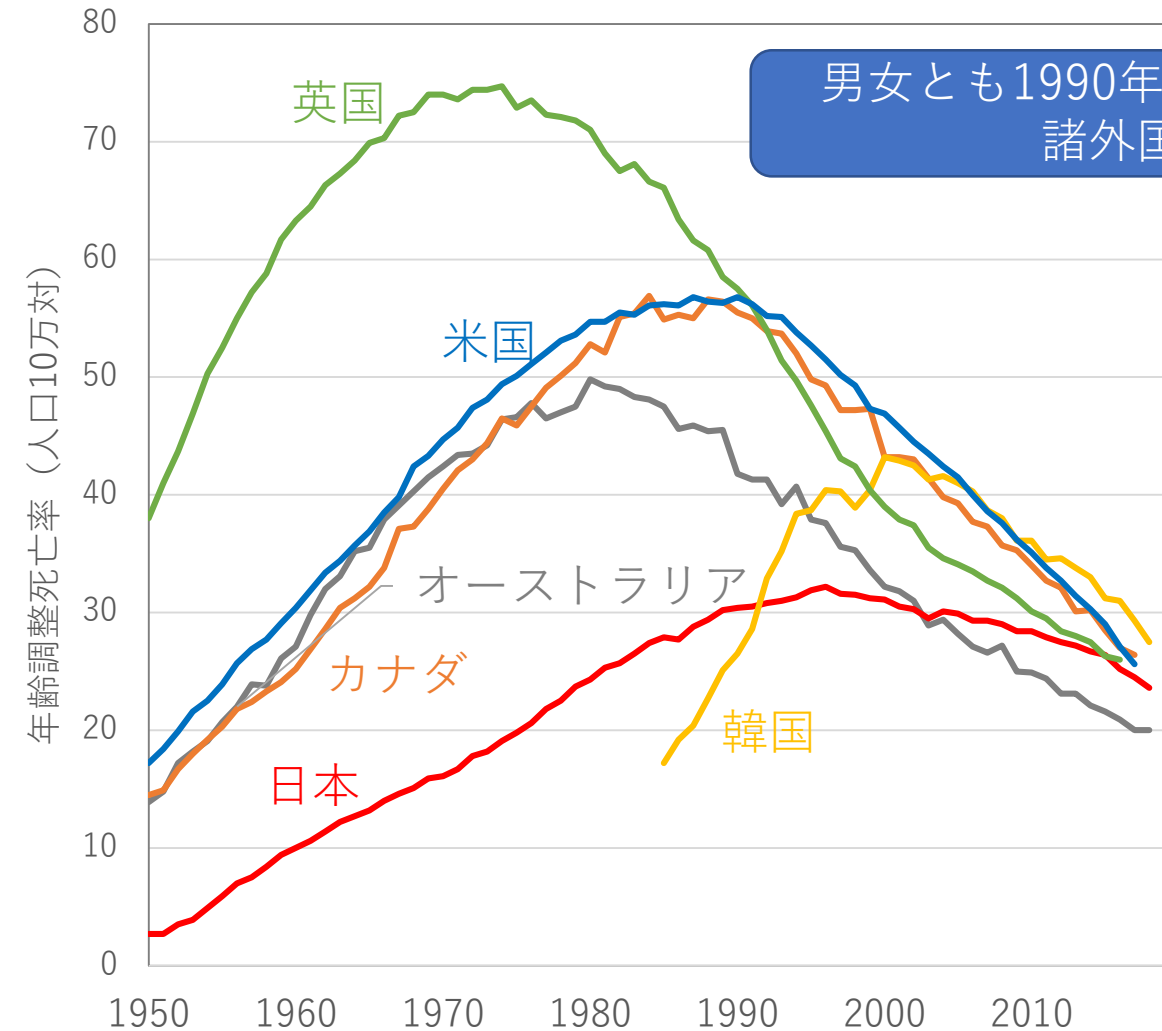
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

# 全年齡 年齡調整死亡率 肺がん

男性

女性

男女とも1990年代後半から減少しているが  
諸外国より減少が鈍い

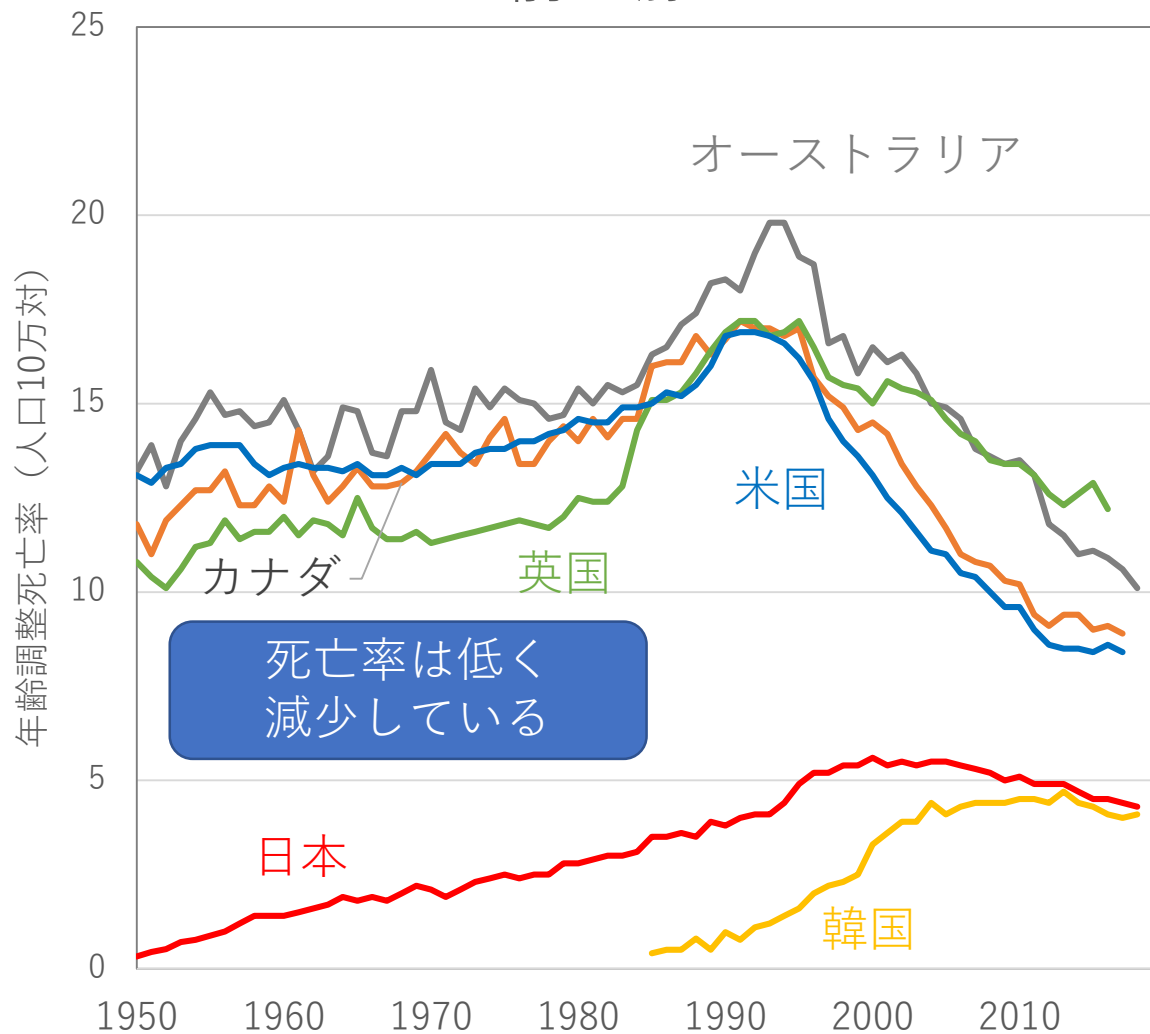


年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

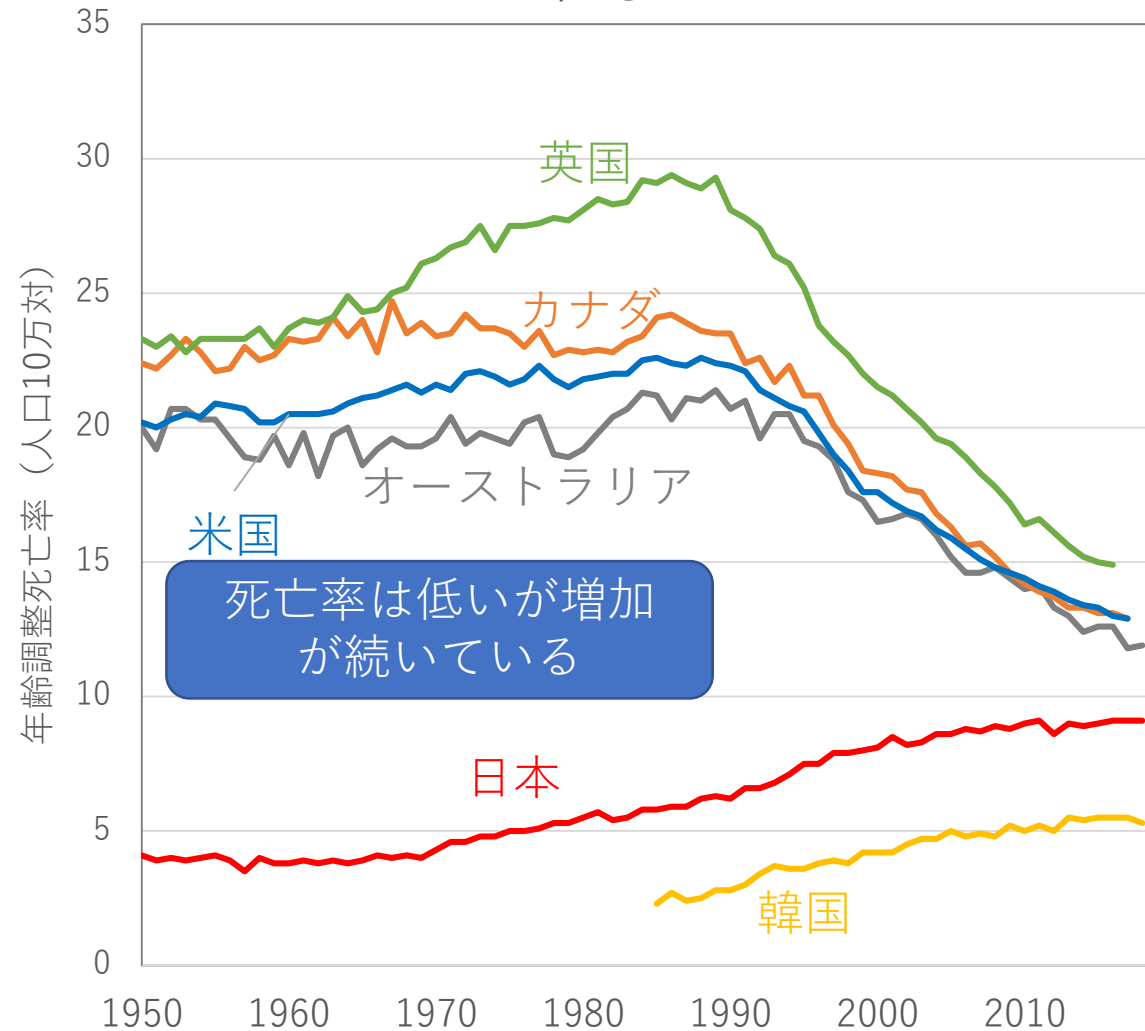


# 全年齡 年齢調整死亡率 前立腺・乳がん

## 前立腺がん



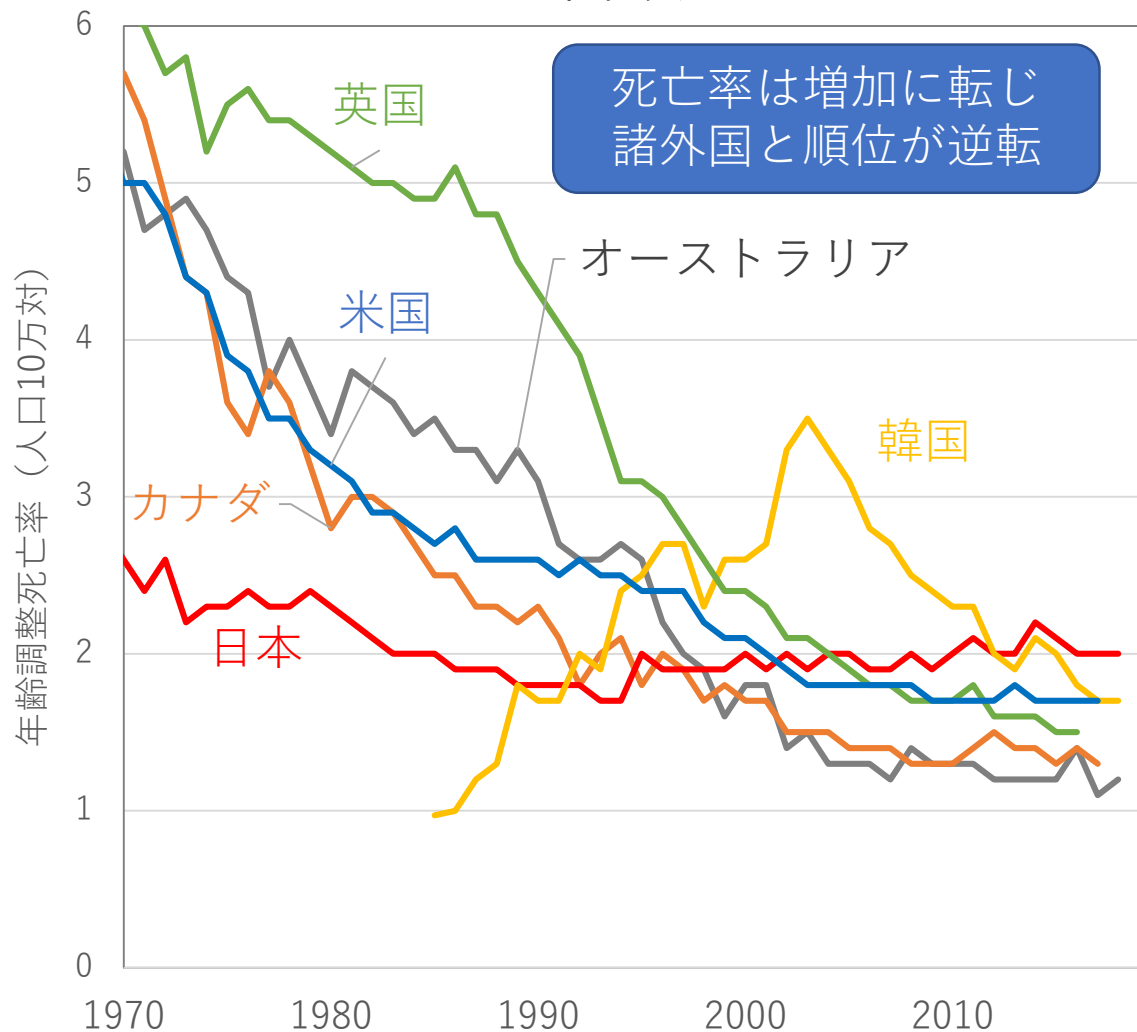
## 女性乳がん



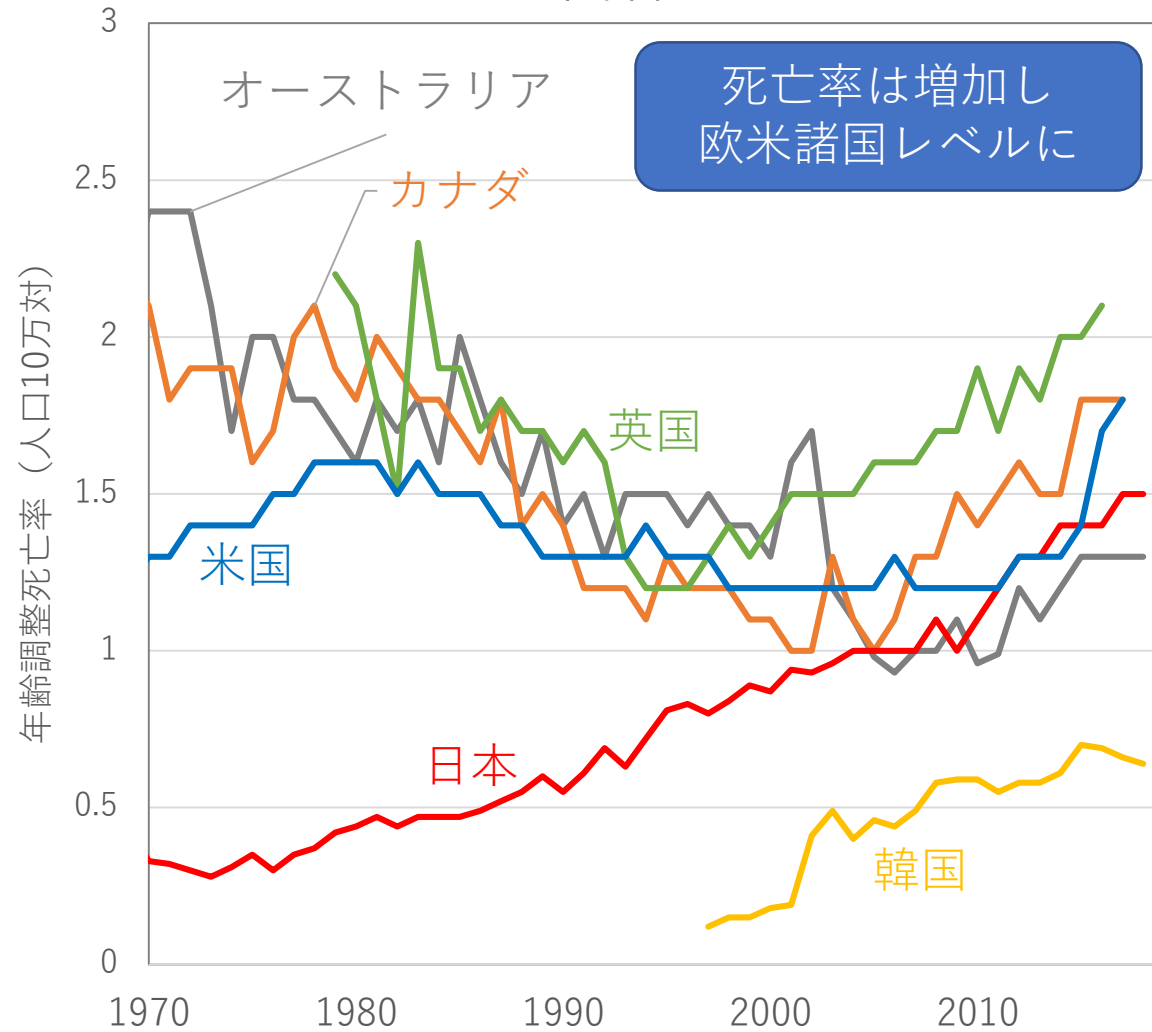
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

# 全年齡 年齢調整死亡率 子宮頸がん・体がん

## 子宮頸がん



## 子宮体がん

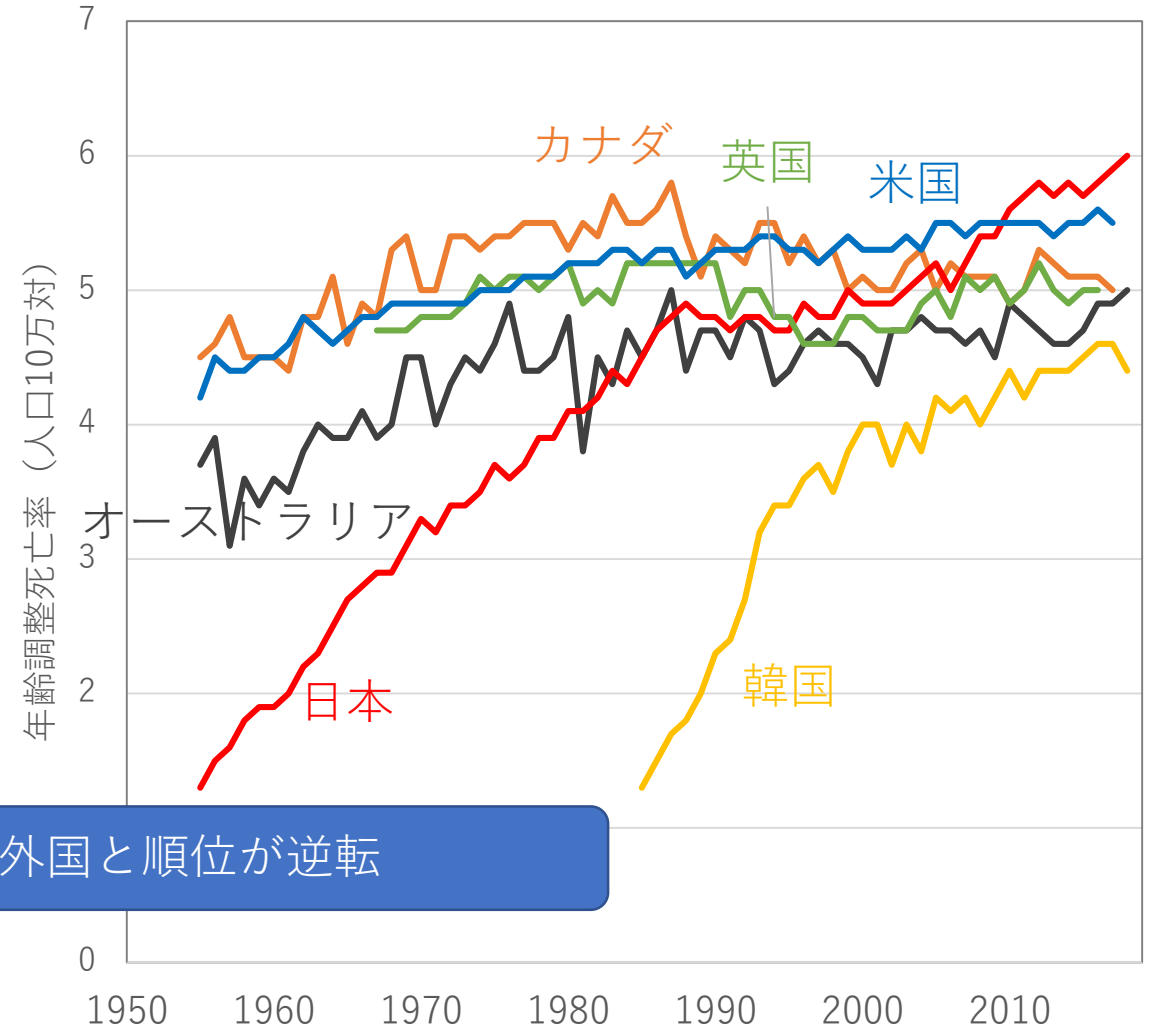
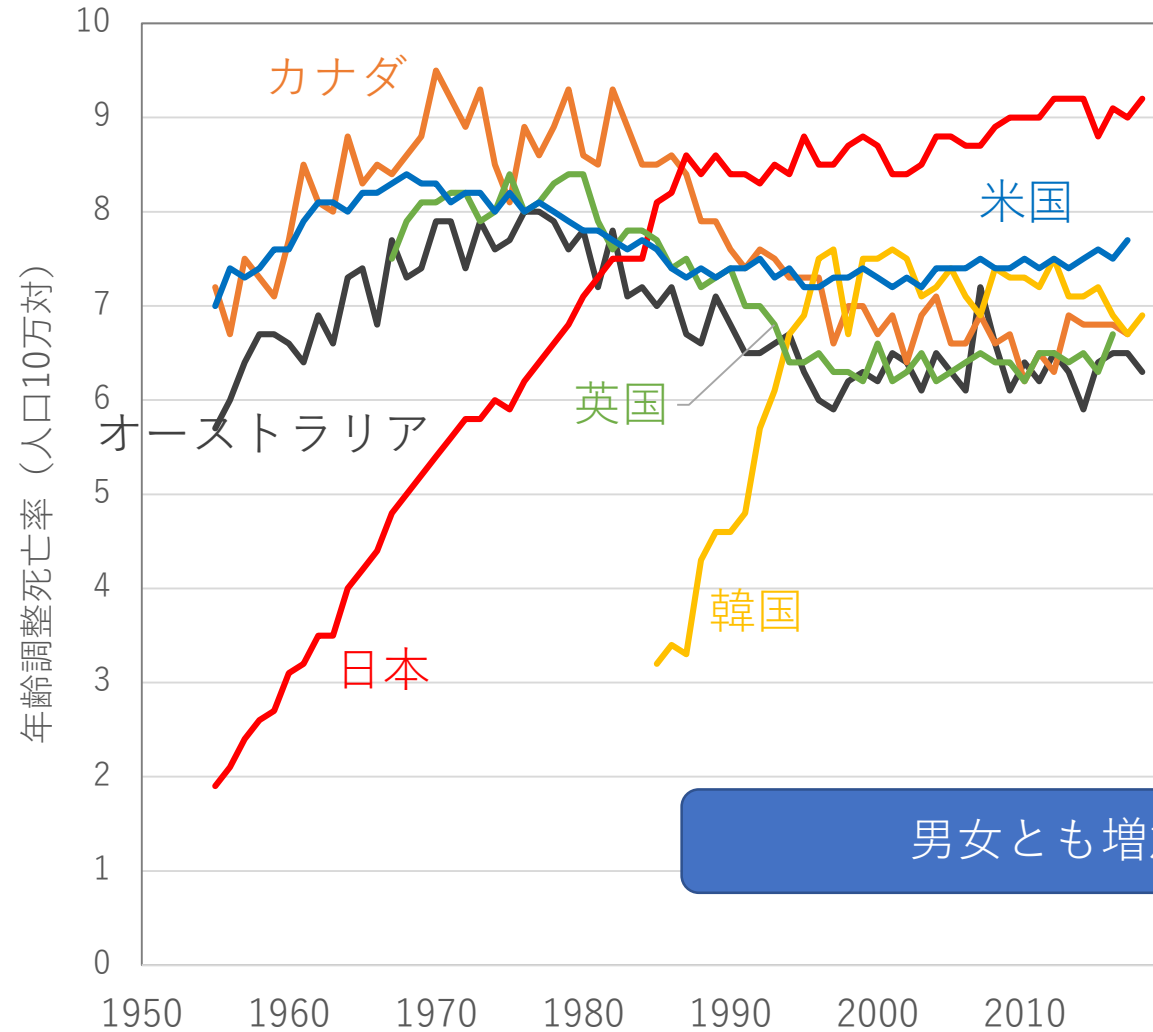


年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

# 全年齡 年齡調整死亡率 膵がん

男性

女性



男女とも増加し諸外国と順位が逆転

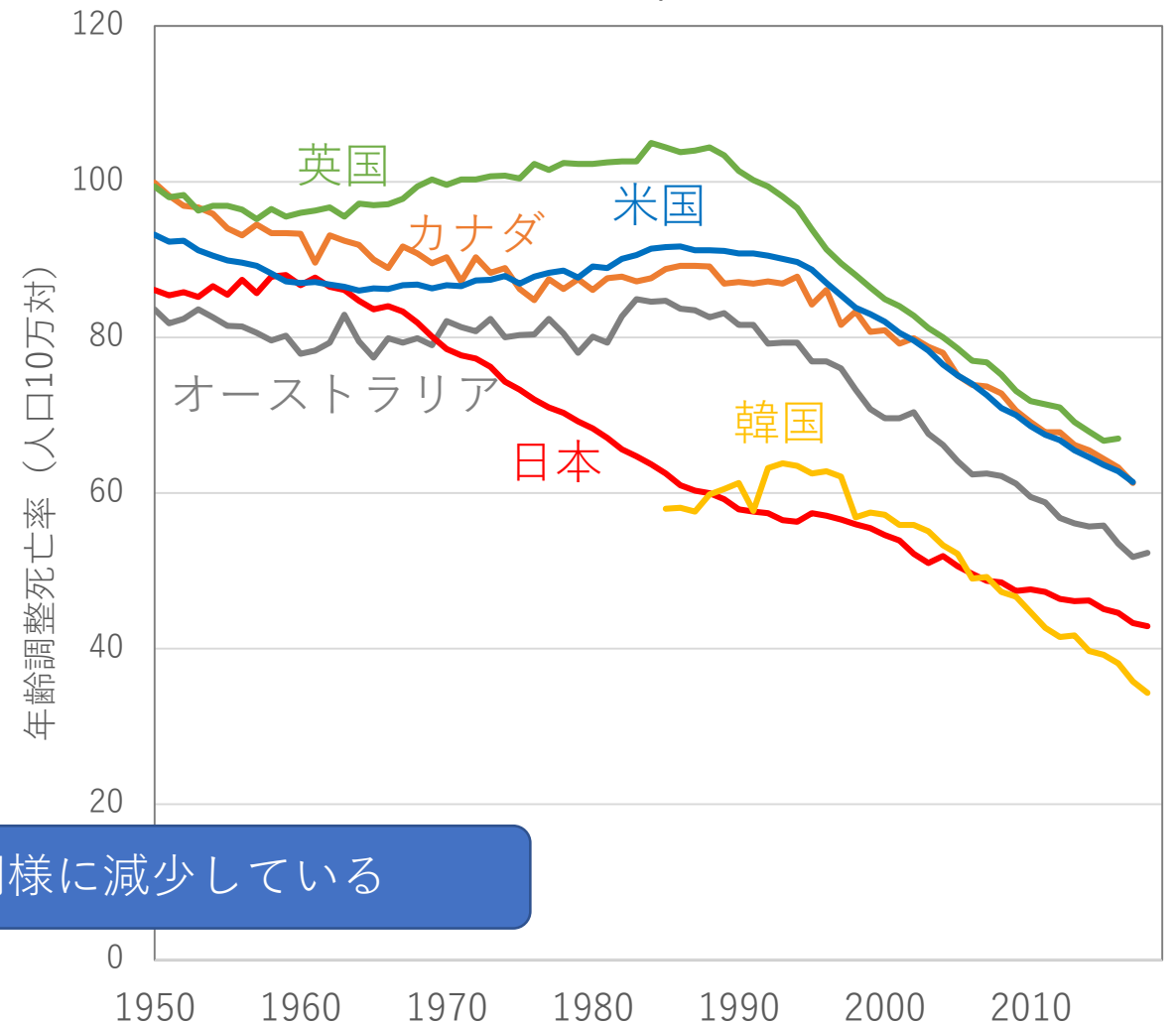
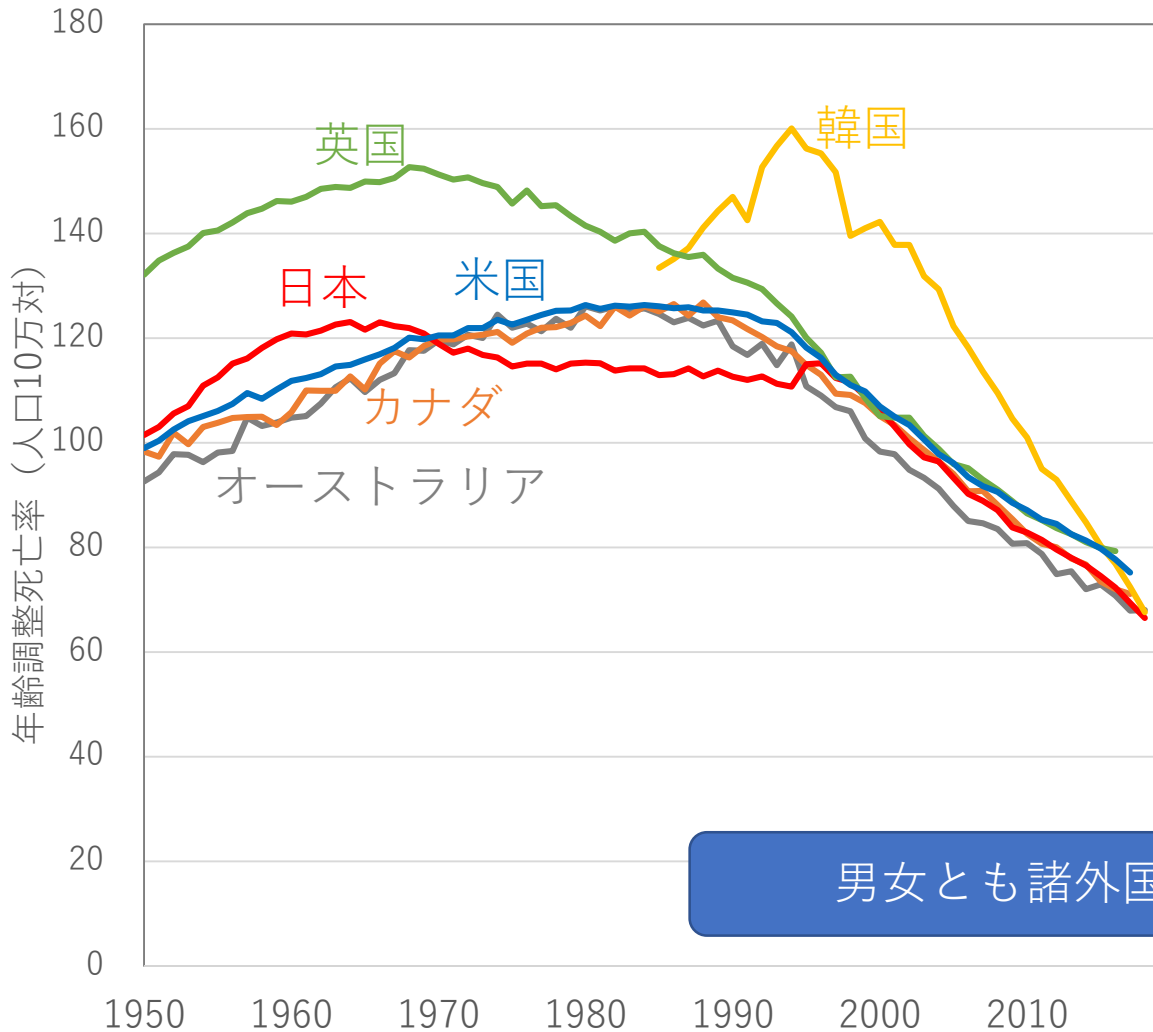
年調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

75歳未満

# 75歳未満 年齢調整死亡率 全がん

男性

女性



男女とも諸外国同様に減少している

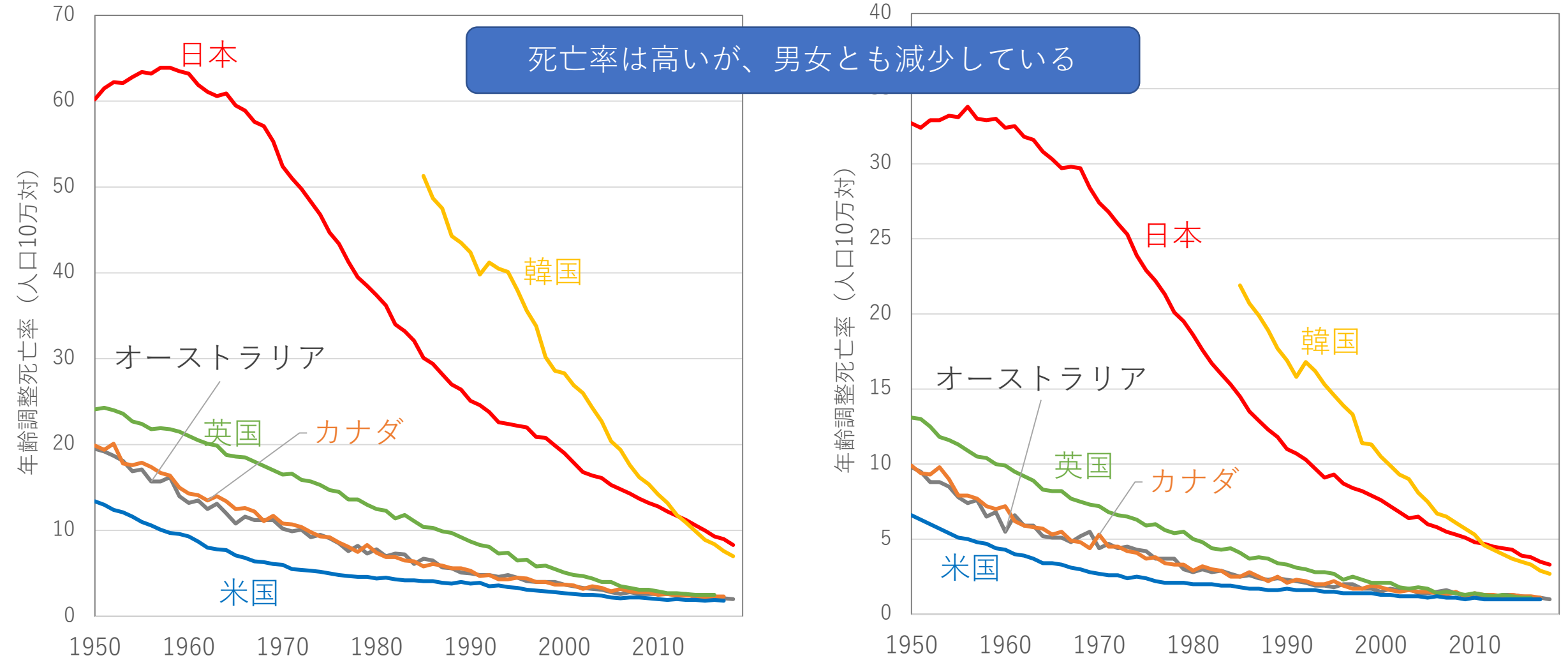
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。全がんは非悪性黒色腫皮膚がんを含まない。

出典：Jpn J Clin Oncol. 2021;51:1680-1686、International Agency for Research on Cancer Global Cancer Observatory (<https://gco.iarc.fr/>) 12

# 75歳未満 年齢調整死亡率 胃がん

男性

女性

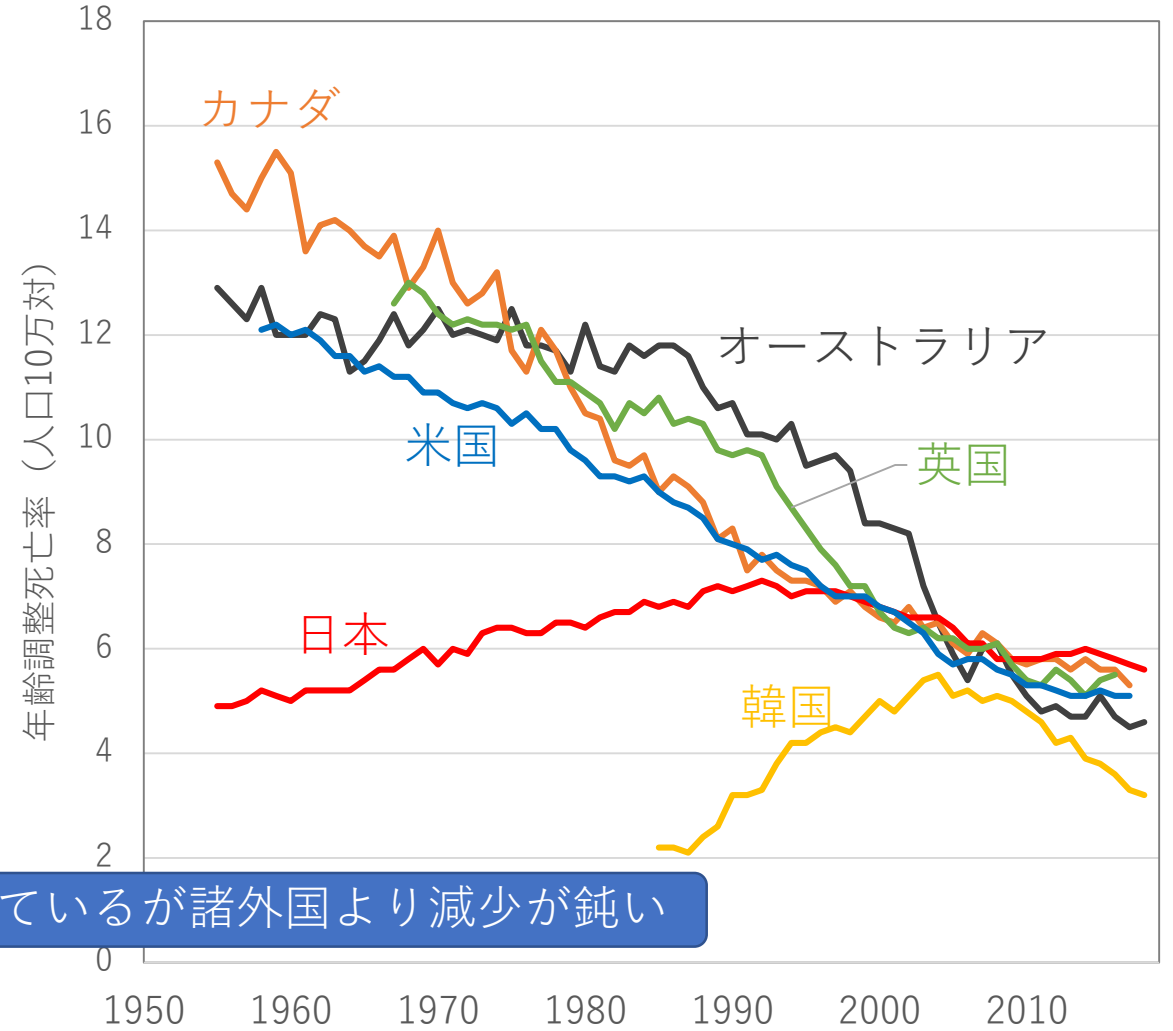
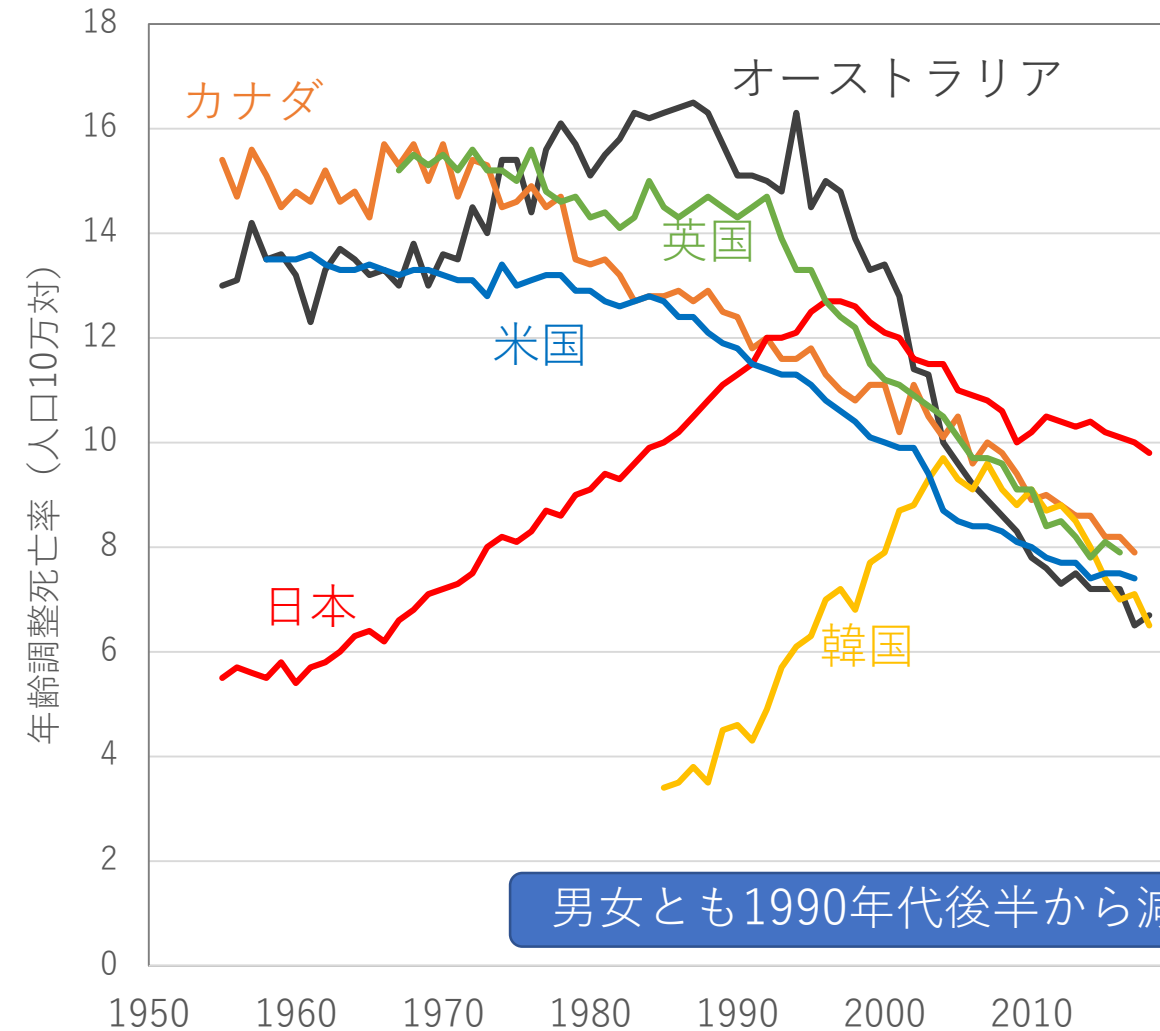


年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

# 75歳未満 年齢調整死亡率 大腸がん

男性

女性



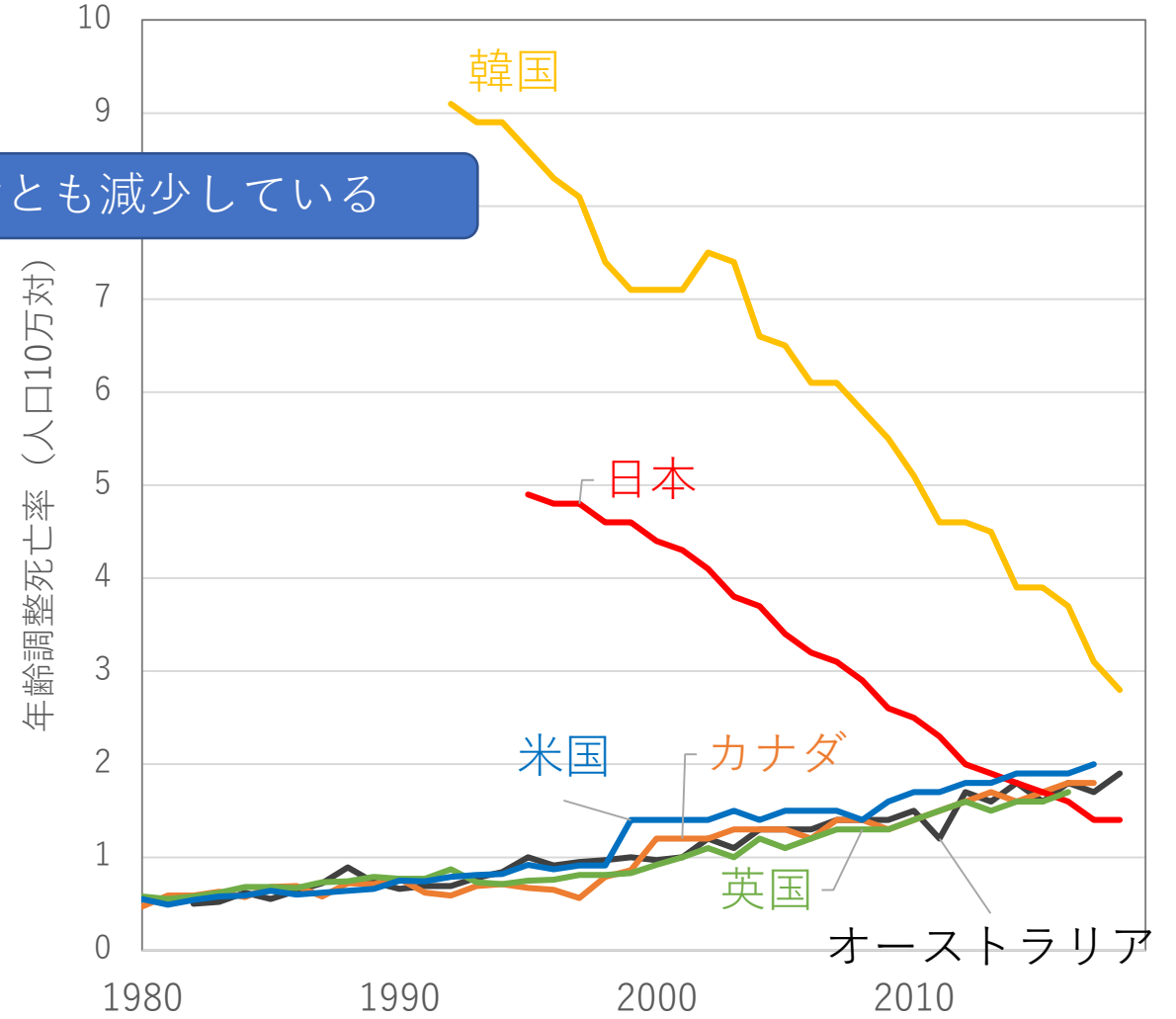
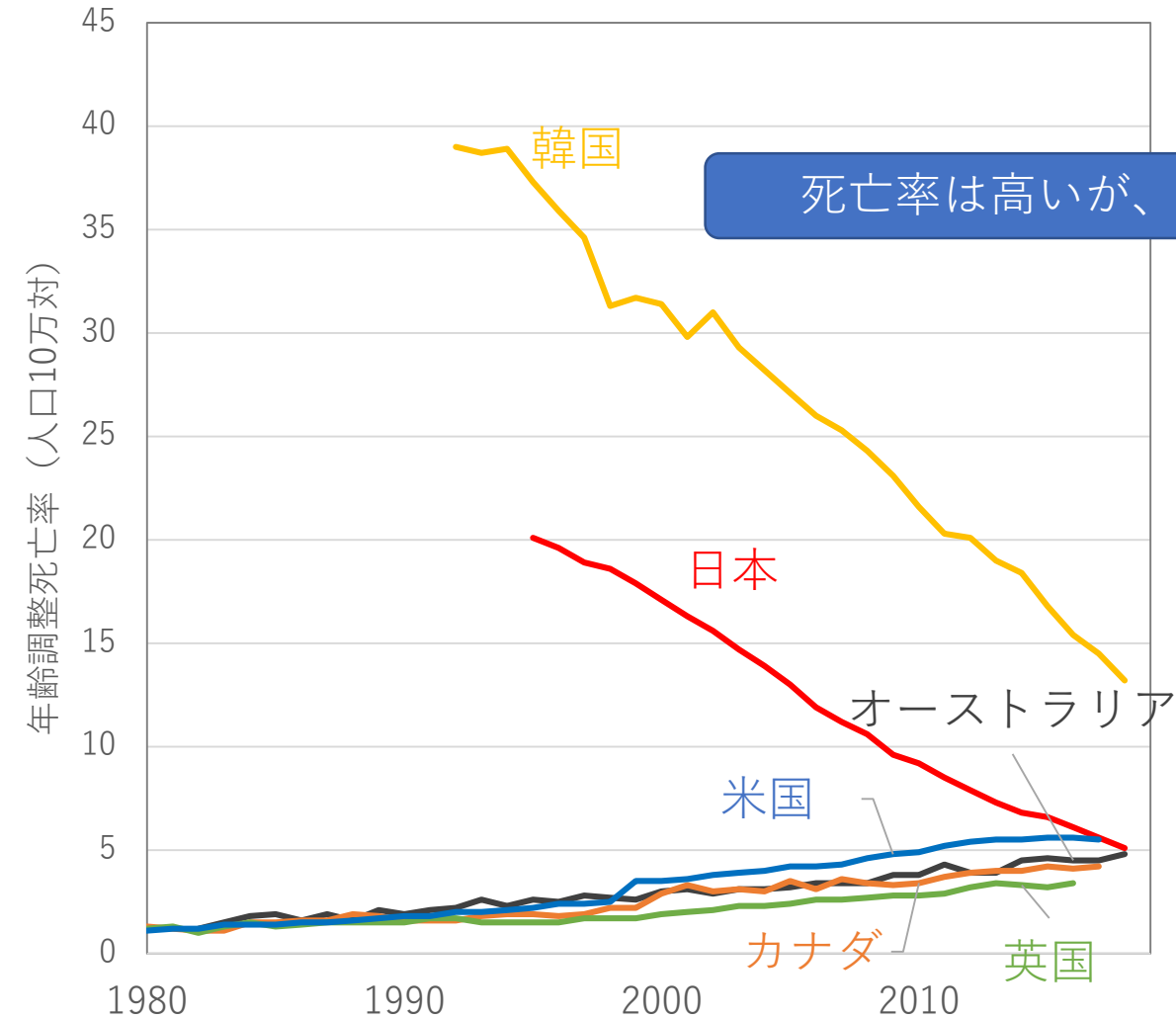
男女とも1990年代後半から減少しているが諸外国より減少が鈍い

年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

# 75歳未満 年齢調整死亡率 肝臓がん

男性

女性



死亡率は高いが、男女とも減少している

年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

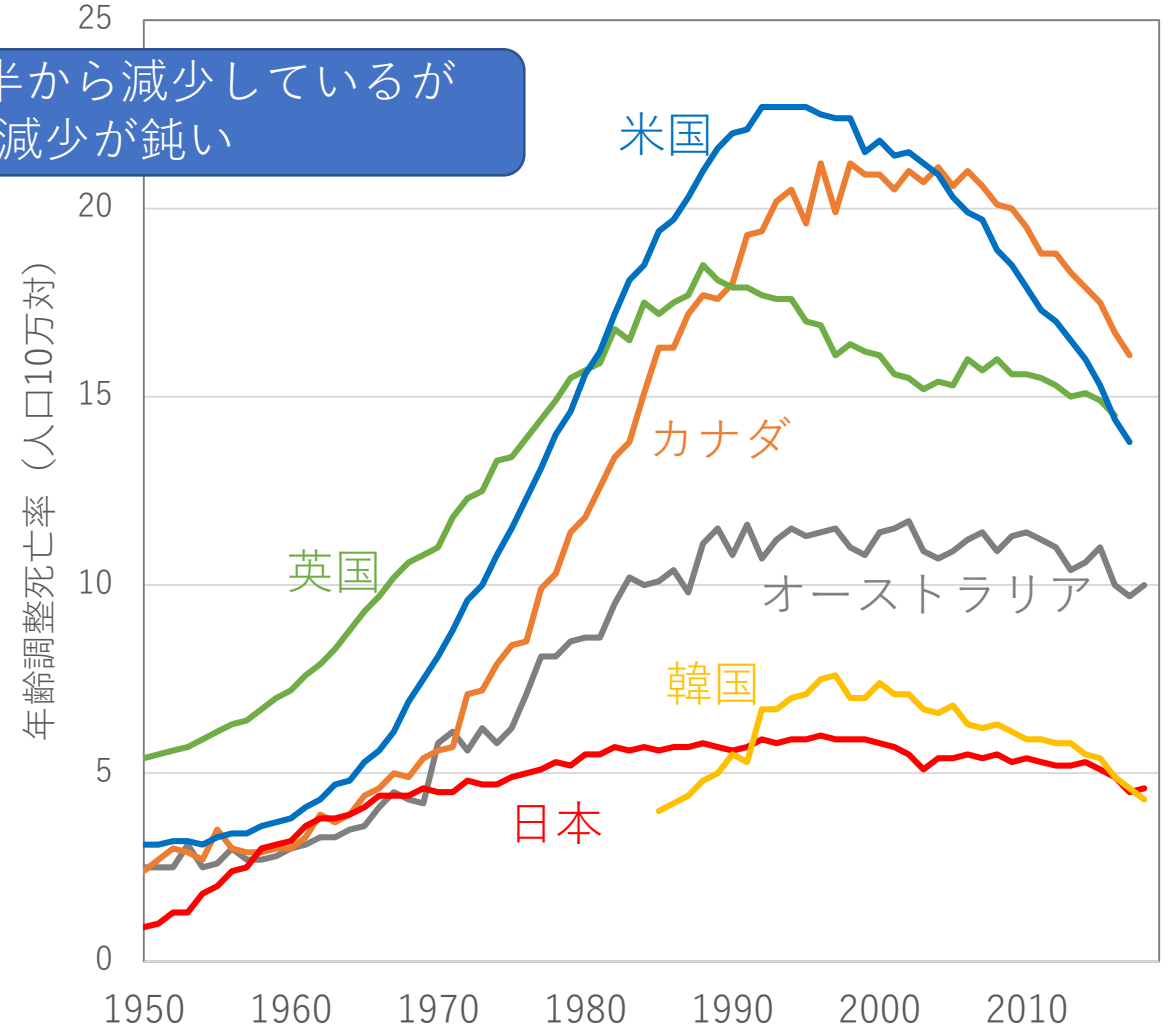
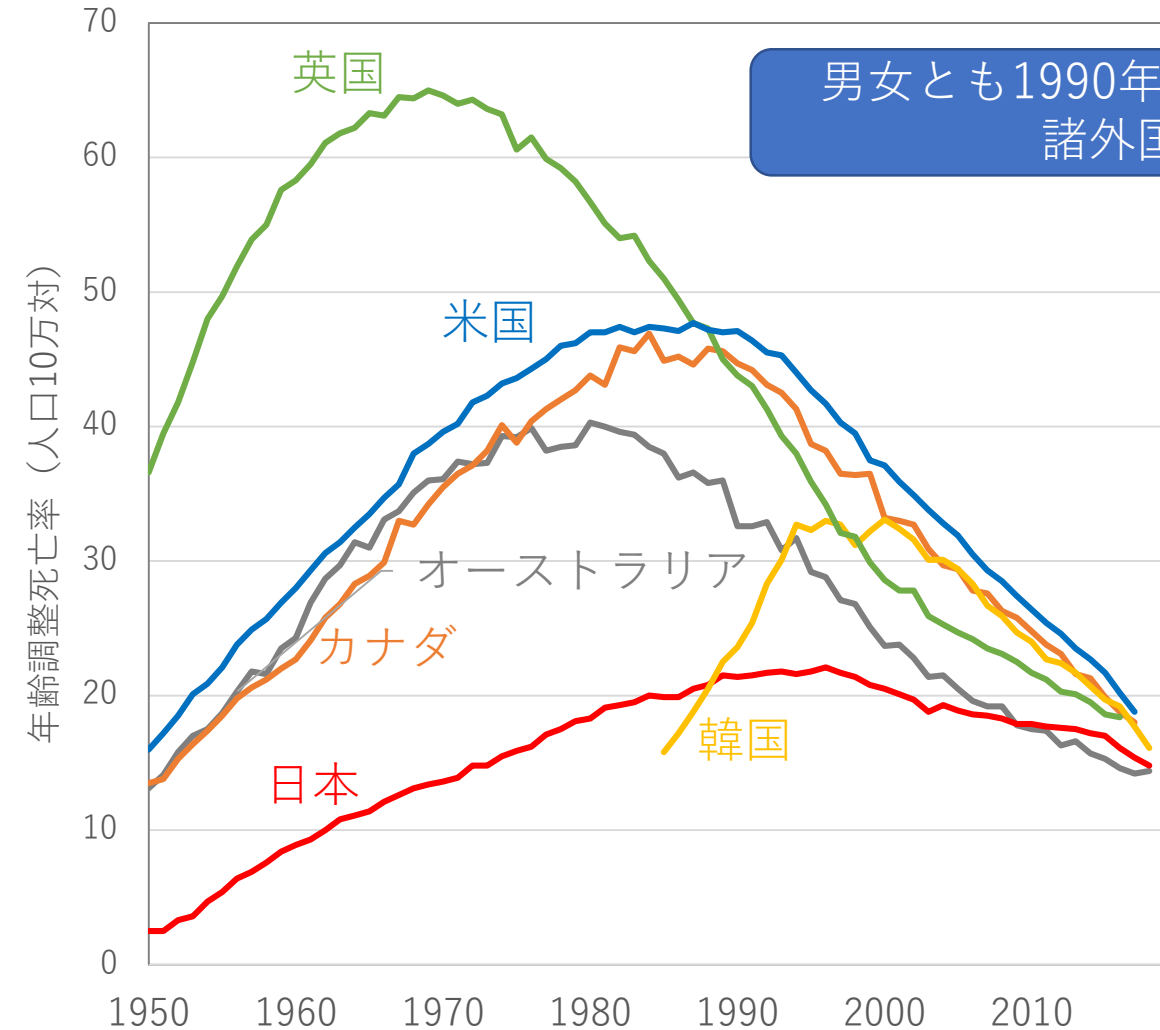


# 75歳未満 年齢調整死亡率 肺がん

男性

女性

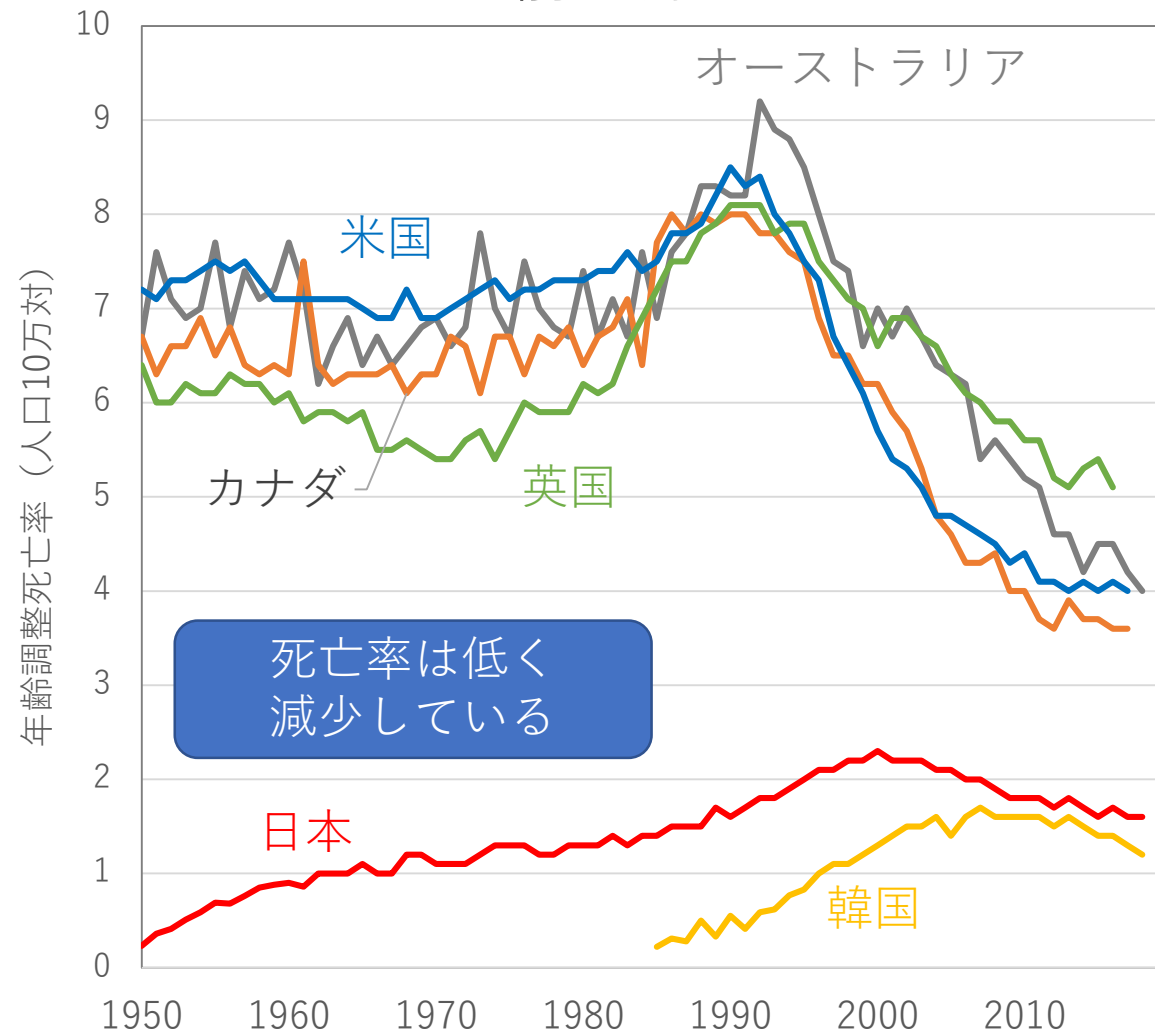
男女とも1990年代後半から減少しているが  
諸外国より減少が鈍い



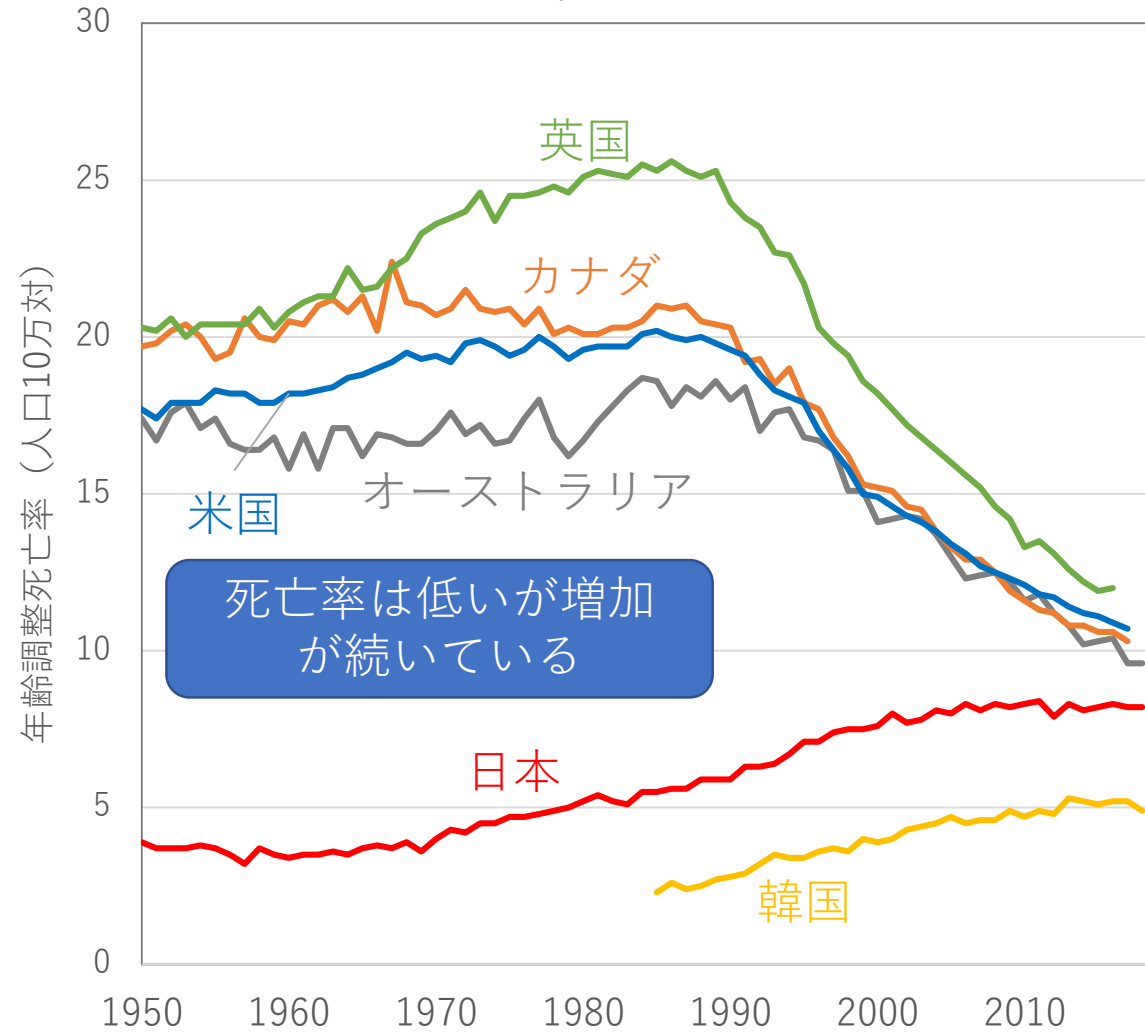
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

# 75歳未満 年齢調整死亡率 前立腺・乳がん

## 前立腺がん



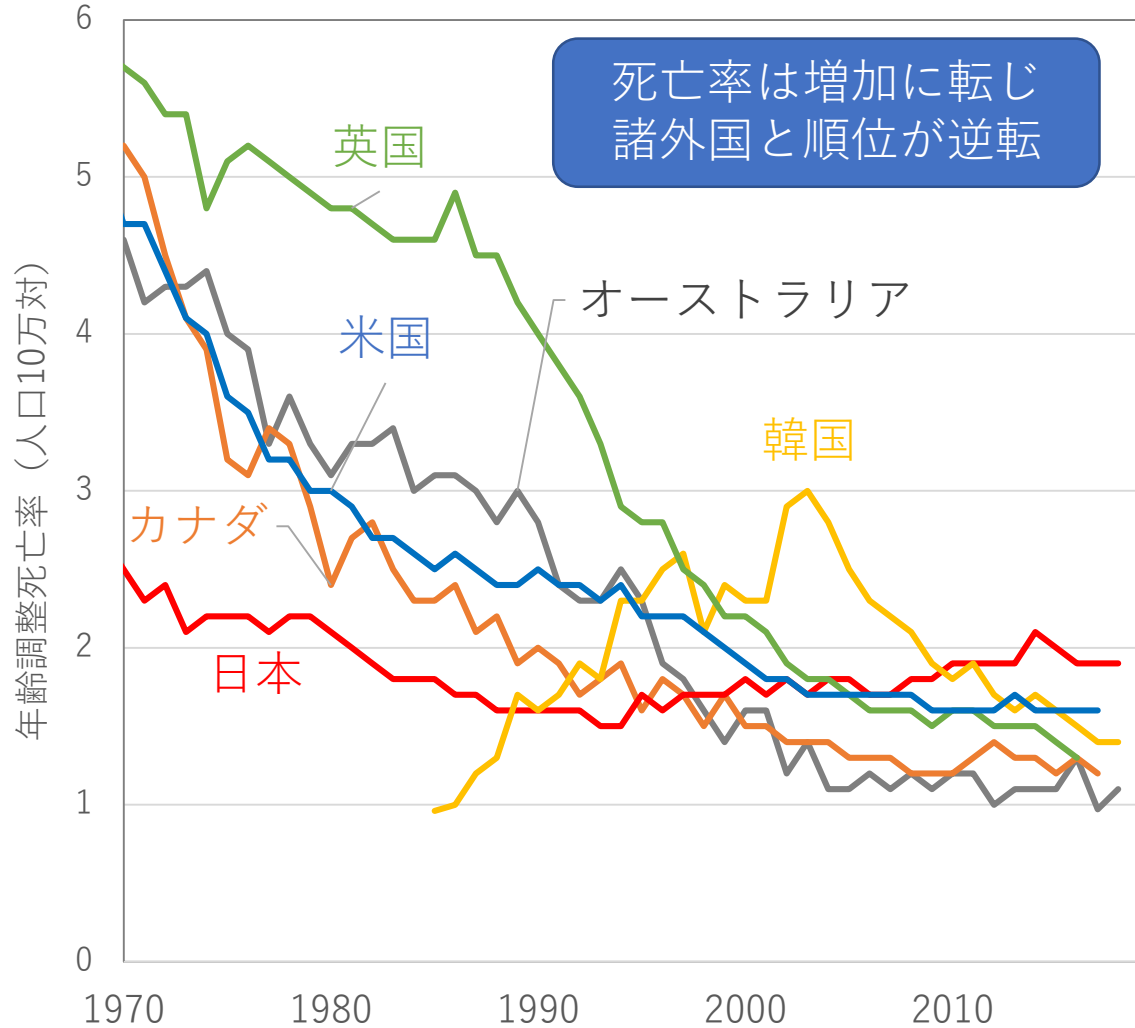
## 女性乳がん



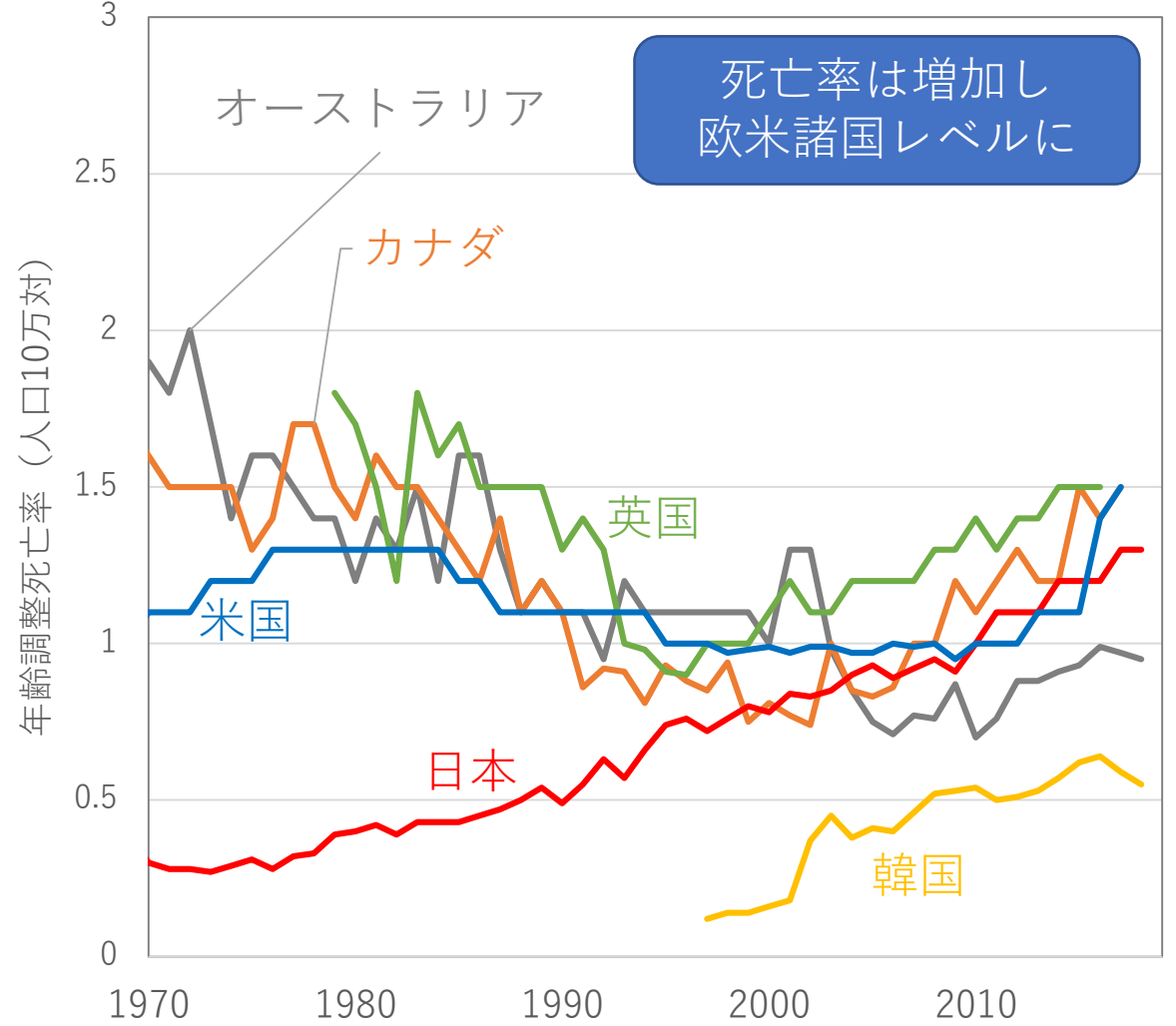
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

# 75歳未満 年齢調整死亡率 子宮頸がん・体がん

## 子宮頸がん



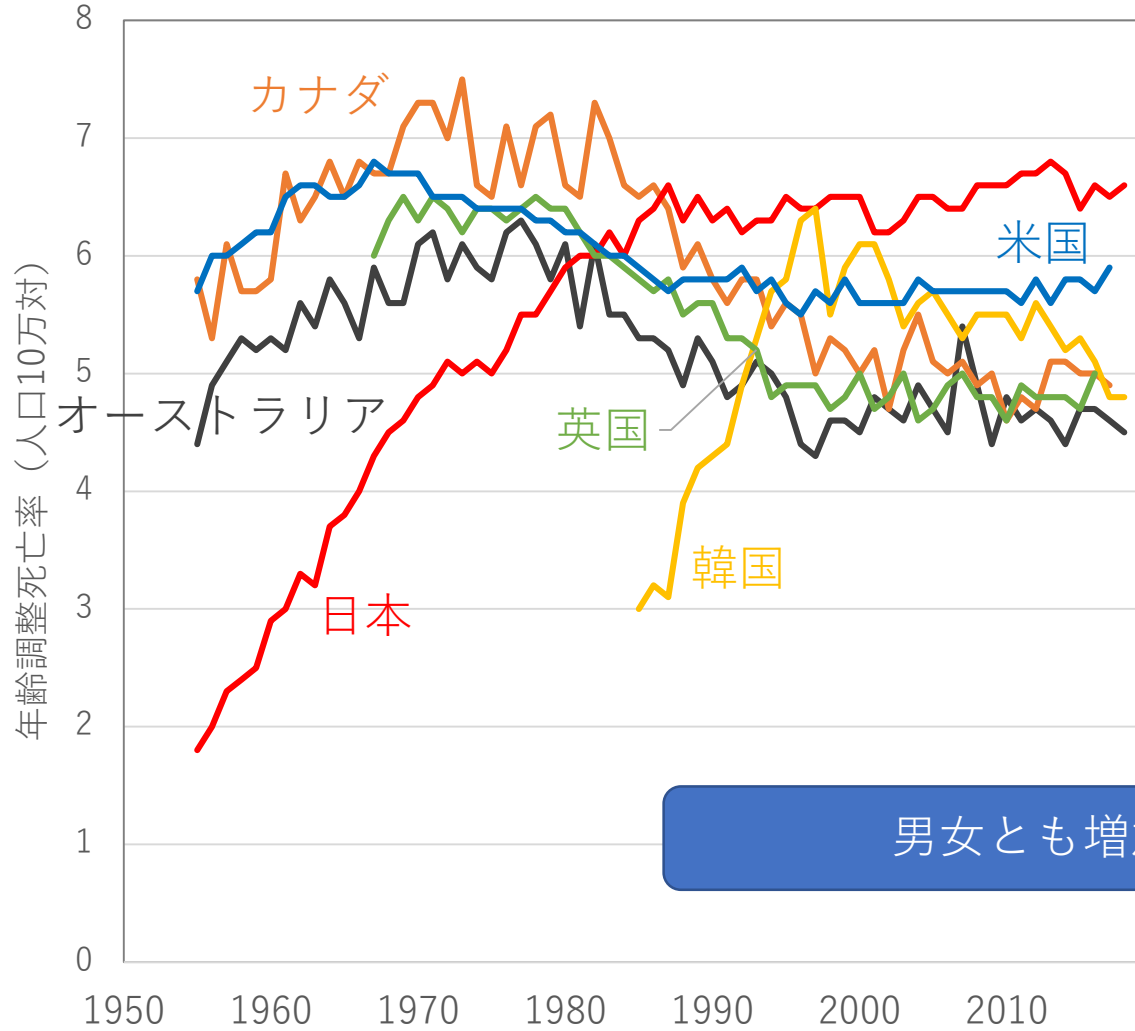
## 子宮体がん



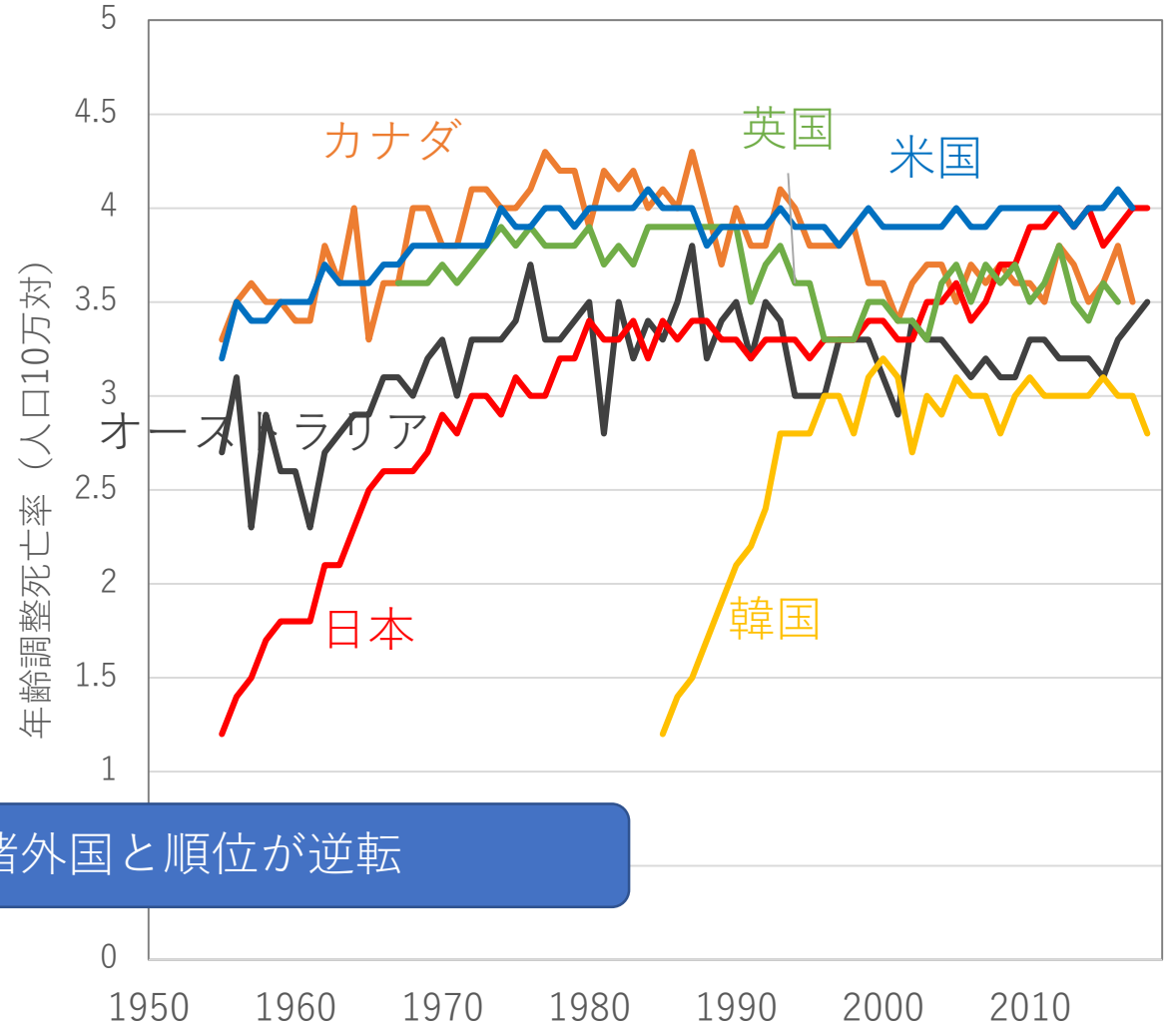
年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

# 75歳未満 年齢調整死亡率 膵がん

男性



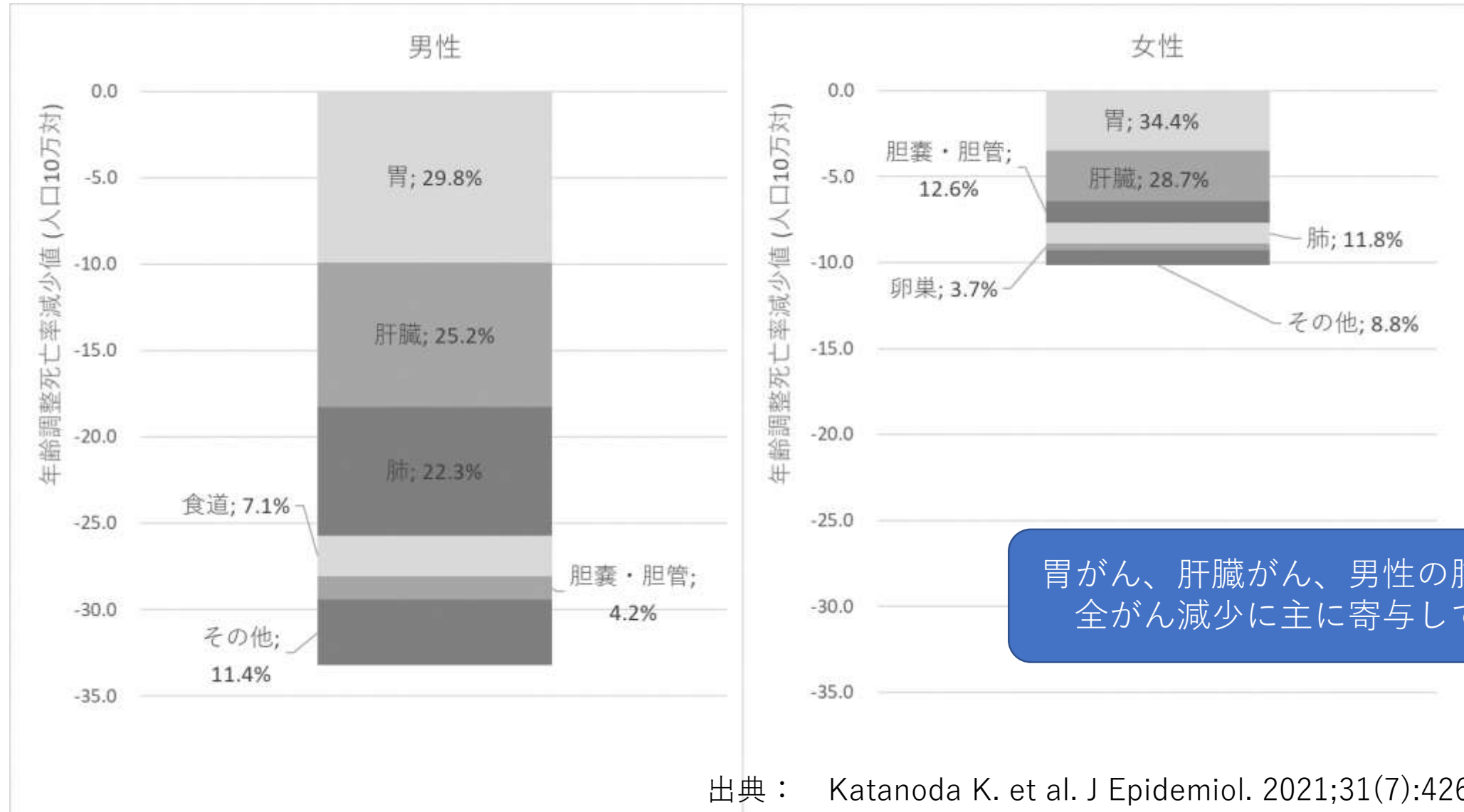
女性



男女とも増加し諸外国と順位が逆転

年齢調整は世界人口 (Segi) を使用。男女で縦軸のスケールが異なる。

# 日本の全がん年齢調整死亡率減少に寄与した がん種の内訳（2009～2018年）



# がん年齢調整死亡率の国際比較のまとめ

- 全がんの年齢調整死亡率は諸外国と同様に減少している
- この減少には胃がん、肝臓がん、男性肺がんが主として寄与している
- 大腸がん、肺がん、女性乳がんは欧米諸国より減少率が鈍く、かつて欧米諸国より低かった死亡率が逆転、あるいは同レベルになっている
- 子宮頸がんは諸外国と対照的に増加に転じている（近年は韓国より高くなっている）